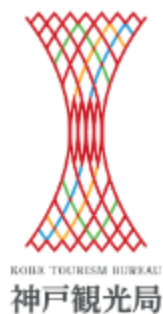


# 神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年7月号)

2023年7月25日



## 1. 今月のトピックス

・観光庁・JNTO『訪日マーケティング戦略』策定	P.3～4
・4～6月 訪日外国人消費動向調査（速報値）	P.5～7
・神戸観光局SNS情報	P.8
・JTB「2023年夏休みの旅行動向」	P.9
・今月号の注目数字（国内観光）OTAモニタリング	P.10～12

## 2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～

・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県）[推計値]	P.14～15
・ホテル平均稼働率	P.16

## 3. インバウンドに関する情報

・2023年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況	P.18～19
・主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～韓国～	P.20

## 4. 交通機関に関する情報

・関西国際空港・神戸空港の利用状況	P.22
・関空国際線就航状況・入国状況	P.23
・クルーズ船寄港状況	P.24

## 5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

・市内観光案内所 観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況	P.26～28
・主要市内観光施設来場者数	P.29
・所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館）	P.30
・神戸市内大型施設の主な催事情報（8～9月）	P.31

● 参考資料集	P.32～
---------	-------

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。  
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



# 今月のトピックス

---

## 観光庁・JNTO 新たな『訪日マーケティング戦略』策定

<観光立国推進基本計画（R5.3 第4次）の目標>

- ・訪日外国人旅行消費額：早期5兆円達成、訪日外国人旅行消費額単価：20万円／人
- ・訪日外国人旅行者数：2025年までに3200万人（2019年水準）超え

これらの達成に向け、JNTOが実施した市場調査の結果をベースに、持続可能な観光・消費額拡大・地方誘客促進の実現に向けて、きめ細かなプロモーションを展開するための2025年までの戦略を策定。👉 **戦略は3部構成**



- ① 市場別戦略
- ② 市場横断戦略（高付加価値、アドベンチャートラベル、万博）
- ③ MICE戦略

持続可能な観光の推進を念頭に、各戦略に紐づく事業を展開

市場別

市場別マーケティング戦略

市場横断

市場横断マーケティング戦略

高付加価値  
旅行

アドベンチャー  
トラベル

大阪・関西  
万博

MICE  
マーケティング  
戦略

## 市場別 マーケティング 戦略

- 各市場・各国における、訪日経験分析と、各ターゲットの興味関心に応じたプロモーションの訴求テーマ・観光コンテンツ
- 各ターゲットの接触メディアや旅行予約方法を踏まえた効果的なプロモーション手法の優先順位

👉 **市場別・国別に「何に興味があるか」「何で発信すれば刺さるのか」**

## 市場横断 マーケティング 戦略

高付加  
価値旅行

- ラグジュアリー層※1をターゲットにしたプロモーション・コネクションの強化  
① 国内関係者のネットワーク化、② サービス内容の収集・蓄積、③ セールスの強化、④ 情報発信の強化

アドベンチャー  
トラベル

- 市場規模が大きい欧米豪のアドベンチャートラベル※2関心層を対象に、「アクティビティ」と「文化体験」を組み合わせた日本ならではの魅力を訴求  
① セールスの強化、② 情報発信の強化、③ 国内事業者との関係強化

大阪・関西  
万博

- 大阪・関西万博の機運醸成と、万博を契機とした地方誘客の推進  
2023年:万博開催の認知と訪日旅行の想起獲得、2024年～:万博を絡めた訪日旅行の想起・予約促進・誘客

👉 **市場を超えたターゲットの設定・訴求による訪日旅行者の獲得**

※1 ラグジュアリー層=高付加価値旅行者：訪日旅行者1回あたりの総消費額100万円/人以上の旅行者のこと（国際航空券代は除く）

※2 アドベンチャートラベル：アクティビティ・自然・文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行

## MICE マーケティング 戦略

- 「観光立国推進基本計画」に加え、本年5月に策定された「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」※3を踏まえ、大阪・関西万博やポストコロナの新しいニーズに応じた国際会議・インセンティブ旅行の誘致

👉 **2030年までにアジアNo.1の国際会議開催国として不動の地位、世界5位以内を目指す**

※3 『新時代のインバウンド拡大アクションプラン』の決定について | 2023年 | 報道発表 | 報道・会見 | 観光庁 (mlit.go.jp)  
2023年6月マンスリーレポートにおいて紹介していますので、ぜひご覧ください。

👉 詳しくは、JNTOホームページをご確認ください。

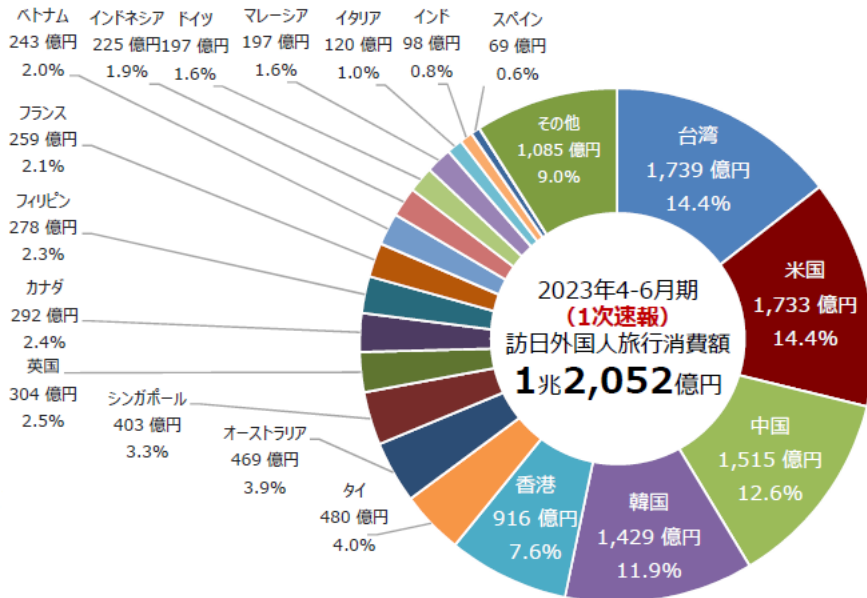
[新たな「訪日マーケティング戦略」を策定！ | 報道発表 | JNTO\(日本政府観光局\)](#)

# 4～6月 訪日外国人消費動向調査（速報値）①

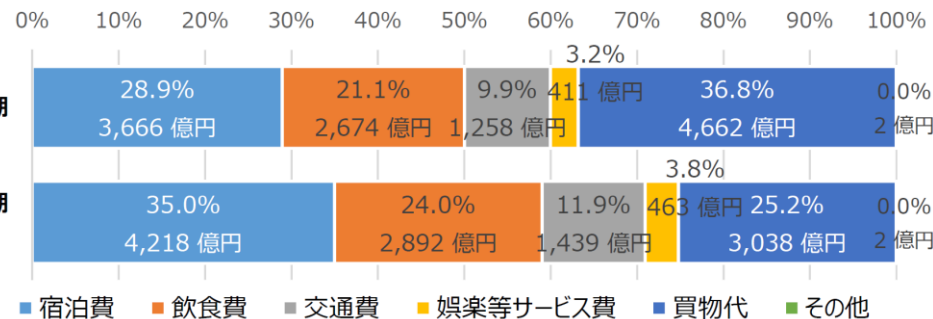
## 2023.4～6 訪日外国人消費動向調査（速報値）

・ 訪日外国人旅行消費額は、1兆2,052億円。  
 2019年（コロナ前）と比較して**95.1%**まで回復。（2023年1～3月速報値：2019年同期比 88.1%）

【図表1】国籍・地域別にみる訪日外国人旅行消費額と構成比



【図表2】訪日外国人旅行消費額の費目別構成比



詳しくは、観光庁ホームページをご確認ください。

[訪日外国人消費動向調査2023年4-6月期\(1次速報\)について | 2023年 | 報道発表](#)  
[報道・会見 | 観光庁 \(mlit.go.jp\)](#)

出典：観光庁「【訪日外国人消費動向調査】2023年4-6月期の全国調査結果（1次速報）の概要」より

# 4～6月 訪日外国人消費動向調査（速報値）②

- ・ 1人あたり旅行支出は平均20万5千円。  
1位 英国（35万9千円）、2位 中国（33万8千円）、3位 オーストラリア（33万7千円）
- ・ 参考：観光立国推進計画（2025.3決定）における、2025目標値 訪日外国人旅行消費額単価：20万円/人

【図表5】国籍・地域別にみる一般客1人当たり費目別旅行支出（全目的）

2023年4-6月期 (1次速報) (円/人) (泊)

国籍・地域	総額	2019年比	訪日外国人1人当たり旅行支出						平均泊数 注
			宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス費	買物代	その他	
全国籍・地域	204,509	+32.0%	71,574	49,079	24,422	7,849	51,555	30	10.0
韓国	94,205	+36.3%	30,189	27,010	8,561	6,165	22,241	40	3.5
台湾	176,801	+48.4%	45,329	41,328	16,659	6,447	67,038	0	6.0
香港	185,593	+20.8%	59,081	49,344	21,686	5,274	50,208	0	6.9
中国	338,238	+50.9%	95,512	64,155	25,408	6,377	146,786	0	19.0
タイ	189,901	+41.2%	58,403	45,620	27,676	5,806	52,395	0	7.5
シンガポール	275,807	+61.8%	102,940	60,591	34,496	9,792	67,988	0	9.1
マレーシア	204,210	+51.1%	72,060	47,170	27,248	7,337	50,394	0	8.4
インドネシア	188,852	+40.3%	67,195	36,357	25,275	6,384	53,641	0	15.1
フィリピン	166,459	+39.7%	57,086	37,888	20,994	8,465	42,027	0	16.9
ベトナム	173,485	+8.9%	54,964	41,606	16,629	4,699	55,586	0	39.8
インド	202,738	+22.9%	86,259	37,268	32,489	5,607	41,114	0	24.3
英国	358,888	+51.2%	162,991	82,529	54,343	12,909	46,116	0	14.0
ドイツ	326,781	+64.4%	154,536	78,976	50,045	10,453	32,628	143	14.2
フランス	327,897	+35.3%	128,055	98,993	49,811	9,761	41,278	0	14.6
イタリア	318,401	+53.7%	141,907	78,680	52,947	9,547	35,320	0	12.7
スペイン	269,635	+23.7%	116,564	61,486	51,452	9,587	30,546	0	15.8
ロシア	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国	291,946	+54.4%	129,034	69,992	40,428	11,636	40,856	0	11.7
カナダ	268,089	+42.6%	114,553	61,875	45,910	9,044	36,707	0	11.7
オーストラリア	337,070	+44.4%	131,581	86,853	50,503	20,849	46,499	785	14.8
その他	308,463	+58.4%	126,044	76,179	46,870	12,776	46,594	0	16.9

※「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加え、ビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。



# 4～6月 訪日外国人消費動向調査（速報値）③

【図表6】国籍・地域別にみる一般客1人当たり費目別旅行支出（観光・レジャー目的のみ）

2023年4-6月期 (1次速報) (円/人) (泊)

国籍・地域	総額		訪日外国人1人当たり旅行支出【観光・レジャー目的】						平均泊数 注
	2023年4-6月期	2019年比	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス費	買物代	その他	
全国籍・地域	<b>201,172</b>	+30.1%	69,729	48,363	24,652	8,429	49,964	35	7.1
韓国	92,804	+40.1%	29,149	26,563	8,195	6,129	22,738	31	3.3
台湾	170,744	+46.8%	43,116	40,192	14,991	6,622	65,823	0	5.5
香港	190,500	+26.5%	60,751	50,398	22,058	5,465	51,828	0	6.7
中国	351,462	+56.8%	91,706	60,673	28,314	6,362	164,406	0	8.2
タイ	193,264	+44.1%	60,931	43,919	29,232	6,121	53,060	0	6.9
シンガポール	275,323	+48.5%	97,041	63,122	32,624	10,964	71,571	0	9.4
マレーシア	210,639	+53.3%	71,095	50,086	28,777	8,661	52,021	0	7.4
インドネシア	203,721	+39.4%	75,604	38,240	29,509	8,410	51,958	0	8.2
フィリピン	198,368	+75.2%	68,880	42,733	25,230	11,364	50,161	0	7.8
ベトナム	177,440	+25.3%	50,511	38,404	19,700	8,043	60,783	0	5.4
インド	284,183	+59.4%	109,648	44,647	42,976	12,346	74,565	0	10.1
英国	397,500	+47.7%	179,206	84,176	63,174	16,548	54,396	0	15.1
ドイツ	369,832	+55.8%	168,382	90,979	58,184	13,019	39,057	212	15.3
フランス	333,564	+22.3%	130,979	100,770	54,947	11,630	35,237	0	15.1
イタリア	332,717	+47.3%	149,417	79,126	56,401	10,275	37,498	0	12.2
スペイン	285,229	+28.1%	121,210	66,331	57,079	10,924	29,686	0	14.1
ロシア	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国	323,348	+58.8%	139,340	75,887	47,085	14,867	46,169	0	10.9
カナダ	285,569	+48.6%	123,807	65,982	47,138	10,328	38,314	0	12.4
オーストラリア	351,275	+35.5%	140,109	86,962	53,988	22,763	46,523	930	14.2
その他	336,437	+63.5%	140,823	82,422	51,880	11,775	49,537	0	14.4

「観光・レジャー目的のみ」の集計でも、「2025目標値 訪日外国人旅行消費額 単価:20万円/人」に到達

※「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加え、ビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。





昨年の8月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

## 観光スポット編

今夏トレンドの参考に!

### ↑ いいね数 上位ランキング

2022年8月

BEST 1



2022/8/24

BEST 2



2022/8/4

BEST 3



2022/8/17

BEST 4



2022/8/13

BEST 5



2022/8/1

昨年8月は「海を望むレトロな街」として垂水区塩屋の町並みを紹介した投稿が**1位**となり、「なつかしさ」に共感したコメントが寄せられた。  
**2位**⇒ 有馬親水公園で開催された「有馬涼風ビアガーデン」。日本の夏を感じられるこのイベントは**今年も7/30～8/30の期間行われる**。  
**3位**⇒ 特に若い女子層に支持された「六甲アイランドでハワイ気分」。神戸でリゾート気分を味わえるスポットに注目が集まった。  
**4位**⇒ 「神戸どうぶつ王国」、夏休みのファミリー層が動物を観るだけではなく、動物とのふれあいを通じて楽しく学べる事が出来る施設。  
**5位**⇒ 布引ハーブ園の「丘の上のひまわり畑」は7,600株の品種の違うひまわりが見頃で、夏らしさを存分に感じる投稿として高い評価を得た。



2022/8/10



2022/8/12

他、保存数の多かった投稿として、

- ・プラネタリウムをリニューアルした「バンドー青少年科学館」
- ・「シーサイドカフェ3選」、潮風を感じながらくつろげる神戸・垂水の**海辺のお店**を紹介した投稿が注目された。  
⇒ (GOOD2 BASE、フィエスタ、Gest House Geragera)

## JTB「2023年夏休み（7月15日～8月31日）の旅行動向」抜粋

### 国内旅行はほぼ2019年水準まで回復

- 国内旅行人数：7,250万人（2019年比 **100.1%**）
- 国内旅行平均費用：4万円（2019年比 **109.6%**）
- 国内旅行消費額：2兆9千億円（2019年比 **109.7%**）

### 海外旅行は回復が遅れている

- 海外旅行人数：7,250万人（2019年比 **39.6%**）
- 海外旅行平均費用：23.1万円（2019年比 **99.6%**）
- 海外旅行消費額：2,772億円（2019年比 **39.4%**）

⇒ 4/29以降日本の水際対策が終了し、制度上は海外に行きやすくなったが、航空路線の座席供給数が2019年水準まで回復していないことや物価高などの影響で旅行人数は回復せず。

⇒ 2023.4以降も全国旅行支援が継続されたこと、5/8以降新型コロナウイルス「5類化」などを受け順調に推移。費用は増加傾向。

（図表1）夏休み旅行動向推計数値

	2023年夏休み			2022年実績推計	2022年2019年比	2019年実績推計
	2023年推計値	2022年比	2019年比			
総旅行人数(延べ)	7,370万人	117.8%	97.7%	6,256万人	82.9%	7,543万人
国内旅行人数	7,250万人	116.9%	100.1%	6,200万人	85.6%	7,240万人
海外旅行人数	120万人	214.3%	39.6%	56万人	18.5%	303万人
国内旅行平均費用	40,000円	108.1%	109.6%	37,000円	101.4%	36,500円
海外旅行平均費用	231,000円	-	99.6%	-	-	232,000円
総旅行消費額	3兆1,772億円	-	95.0%	-	-	3兆3,456億円
国内旅行消費額	2兆9,000億円	126.4%	109.7%	2兆2,940億円	86.8%	2兆6,426億円
海外旅行消費額	2,772億円	-	39.4%	-	-	7,030億円

\*旅行人数は延べ人数、平均費用は一人1回あたりの費用 \*対前年比は小数点第2位以下を四捨五入

\*国内旅行人数は宿泊を伴う旅行者の人数(観光および帰省目的の旅行に限る)、海外旅行人数は出国者数(業務目的の旅行を含む)

\*国内旅行平均費用は、交通費・宿泊費・土産代・食費等の旅行中の諸費用を含む \*海外旅行平均費用は、燃油サーチャージ・旅行先での交通費・宿泊費・食費を含む

### 旅行に関する意向（全般）

- 旅行支出を増やす意向が増加傾向
- 旅行における新型コロナウイルス感染症への懸念は減少しつつあり、夏休みの旅行意向自体が増えている。

（図表5）今後1年間の旅行の支出に対する意向  
（単一回答、N=20,000）

	%	前年比
支出を増やしたい	16.6	+2.0
同程度(合算)	48.6	+2.9
同程度 回数を増やし単価を減らす	9.8	+0.9
同程度 回数を減らし単価を増やす	9.5	+0.4
同程度 回数も単価も同程度	29.3	+1.6
支出を減らしたい	34.8	▲4.9

（図表6）夏休みの旅行意向  
（単一回答、N=20,000）

	%	前年比	【参考値】 2019年
行く	36.5	+0.4	38.0
行く たぶん行く	18.6	+0.2	20.0
行く たぶん行かない	17.9	+0.2	18.0
行かない	63.5	▲0.4	62.1
行かない たぶん行かない	27.4	▲0.5	26.8
行かない 行かない	36.1	+0.1	35.3

（図表9）今年の夏休みの旅行に対する考え方について（複数回答、N=2,060）（選択項目は一部を抜粋）

	%
昨年の夏(2022年7月15日～8月31日)より旅行日数を増やす	22.0
昨年の夏(2022年7月15日～8月31日)より旅行日数を減らす	3.7
昨年の夏(2022年7月15日～8月31日)より遠方へ旅行したい	11.7
昨年の夏(2022年7月15日～8月31日)より近場の旅行に行きたい	4.0
昨年の夏(2022年7月15日～8月31日)より旅行にお金をかけて豪華に過ごす予定	6.9
昨年の夏(2022年7月15日～8月31日)より旅行にお金をかけず質素に過ごす予定	4.1
8月14日～18日に休みを取って長期休暇としたうえで旅行する	7.3
お盆時期をずらして長期休暇を取得して旅行する(7月15日～8月31日の間)	12.8
旅行先では混んでいても、著名な施設や人気の高いスポットを訪れたい	7.0
旅行先では密を避けるため、著名な施設や繁華街などの密集する場所は避けたい	9.4

### <国内>

（図表11）旅行日数  
（単一回答、N=1,861）

	%	前年比
1泊2日	32.6	▲3.2
2泊3日	36.2	+3.1
3泊4日	17.9	▲0.4
4泊5日	4.6	+0.5
5泊6日	3.5	▲0.3
6泊7日	1.5	+0.6
7泊8日	1.5	+0.2
8泊以上	2.3	▲0.6

（図表17）一人当たりの旅行費用  
（単一回答、N=1,861）

	%	前年比
1万円未満	8.7	▲0.5
1万円～2万円未満	16.7	▲3.9
2万円～3万円未満	18.3	▲1.1
3万円～4万円未満	9.6	+0.5
4万円～5万円未満	18.5	+1.1
5万円～7万円未満	8.8	+0.8
7万円～10万円未満	11.6	0.0
10万円～15万円未満	4.4	+1.4
15万円～20万円未満	1.9	▲0.3
20万円～30万円未満	1.0	+0.5
30万円～40万円未満	0.4	+0.4
40万円以上	0.3	+0.2

国内旅行は、旅行日数が長期化傾向

### <海外>

（図表21）旅行日数  
（海外のみ）（単一回答、N=199）

	2023年	2019年比
1泊2日	11.6	+10.7
2泊3日	20.1	+8.8
3泊4日	26.6	+14.3
4泊5日	10.1	▲9.7
5泊6日	9.5	▲6.5
6泊7日	5.0	▲5.4
7泊8日	6.0	+0.3
8泊以上	11.1	▲12.5

（図表23）一人当たりの旅行費用  
（海外のみ）（単一回答、N=199）

	2023年	2019年比
1万円未満	3.0	+3.0
1万円～2万円未満	5.5	+5.5
2万円～3万円未満	8.0	+8.0
3万円～4万円未満	3.0	+1.1
4万円～5万円未満	16.6	+14.7
5万円～7万円未満	7.0	▲0.5
7万円～10万円未満	15.6	+0.5
10万円～15万円未満	8.0	▲15.6
15万円～20万円未満	10.6	▲6.4
20万円～30万円未満	8.0	▲2.4
30万円～40万円未満	4.0	▲1.7
40万円以上	10.6	▲6.4

海外旅行は旅行日数が短期化傾向

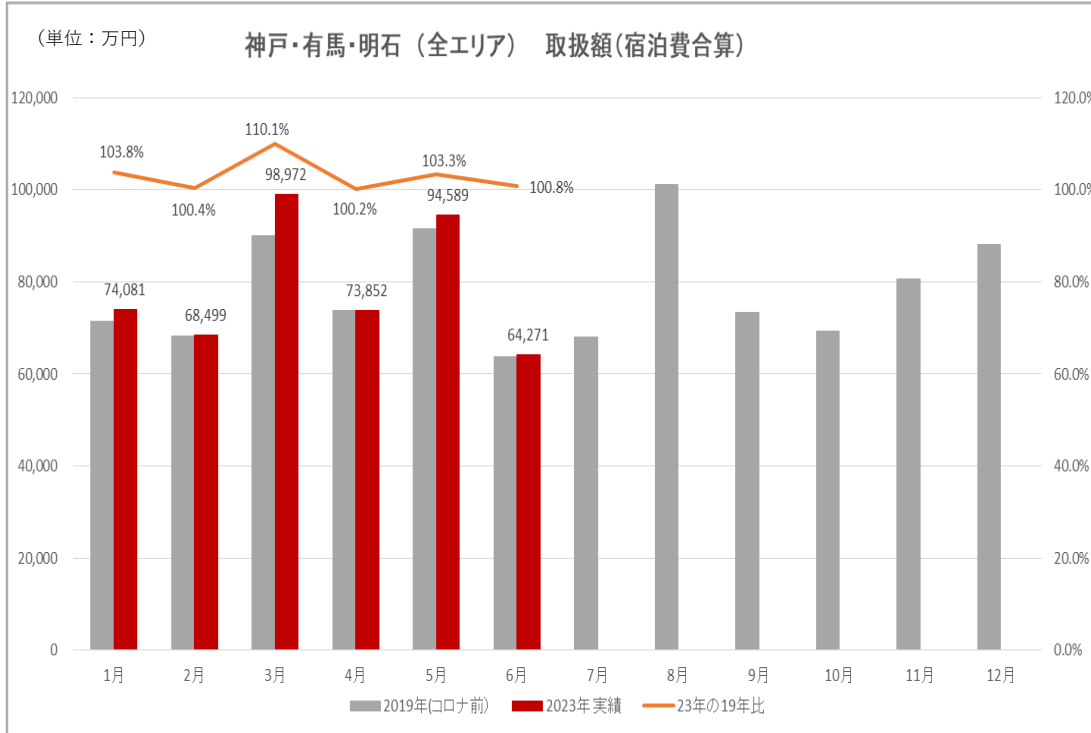
詳しくは、(株)JTBホームページをご確認ください。

# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

## ■ 直近のOTA予約状況について

- 6月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比：100.8%、人泊数：89.6%、単価：112.5%。
- 全国旅行支援の終了などもあり、人泊数はかなり落ち着きを見せている。
- 前月に引き続き市街地・有馬ともに単価が上昇傾向であることから、取扱額は2019年と同水準となった。
- 有馬では、単価は引き続き高止まりしているが、全国旅行支援の終了などもあり、人泊数が伸び悩んだ。
- 市街地においては、人泊数・単価ともに堅調に推移している。

## 【実績】



## 【実績】2019年度比

	4月	5月	6月
<b>全市</b>			
取扱額	100.2% (80.2%)	103.3% (96.5%)	100.8% (97.3%)
人泊数	93.1% (86.4%)	94.5% (98.5%)	89.6% (96.8%)
<b>市街地</b>			
取扱額	109.7% (84.5%)	102.4% (92.0%)	100.8% (95.8%)
人泊数	100.8% (96.8%)	97.8% (101.8%)	92.4% (100.4%)
<b>有馬</b>			
取扱額	89.3% (80.2%)	106.2% (107.9%)	96.9% (97.2%)
人泊数	79.6% (78.3%)	96.1% (102.8%)	81.2% (86.4%)

黒太字は

2023年-2019年比（ ）内は同時点の2022年-2019年比

## 【このデータの特徴】

現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

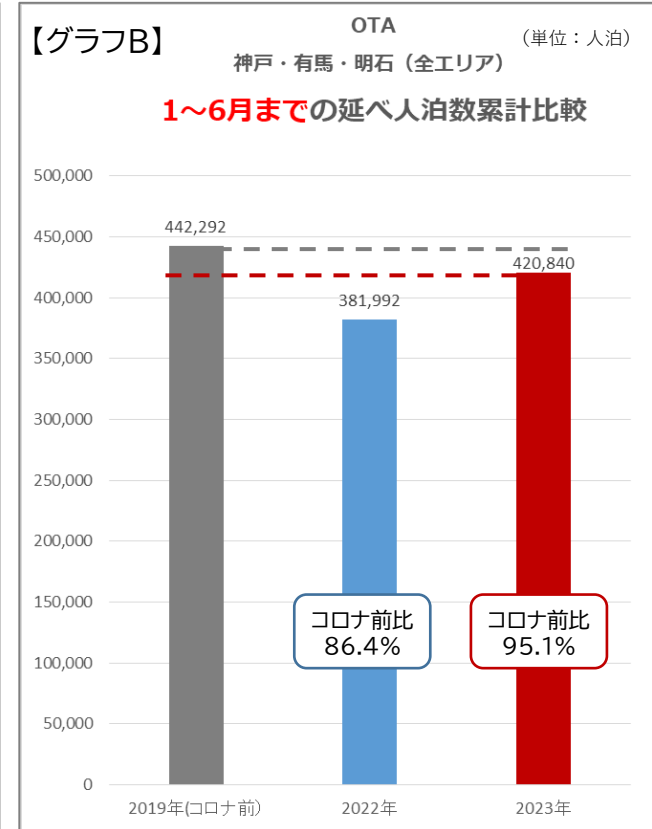
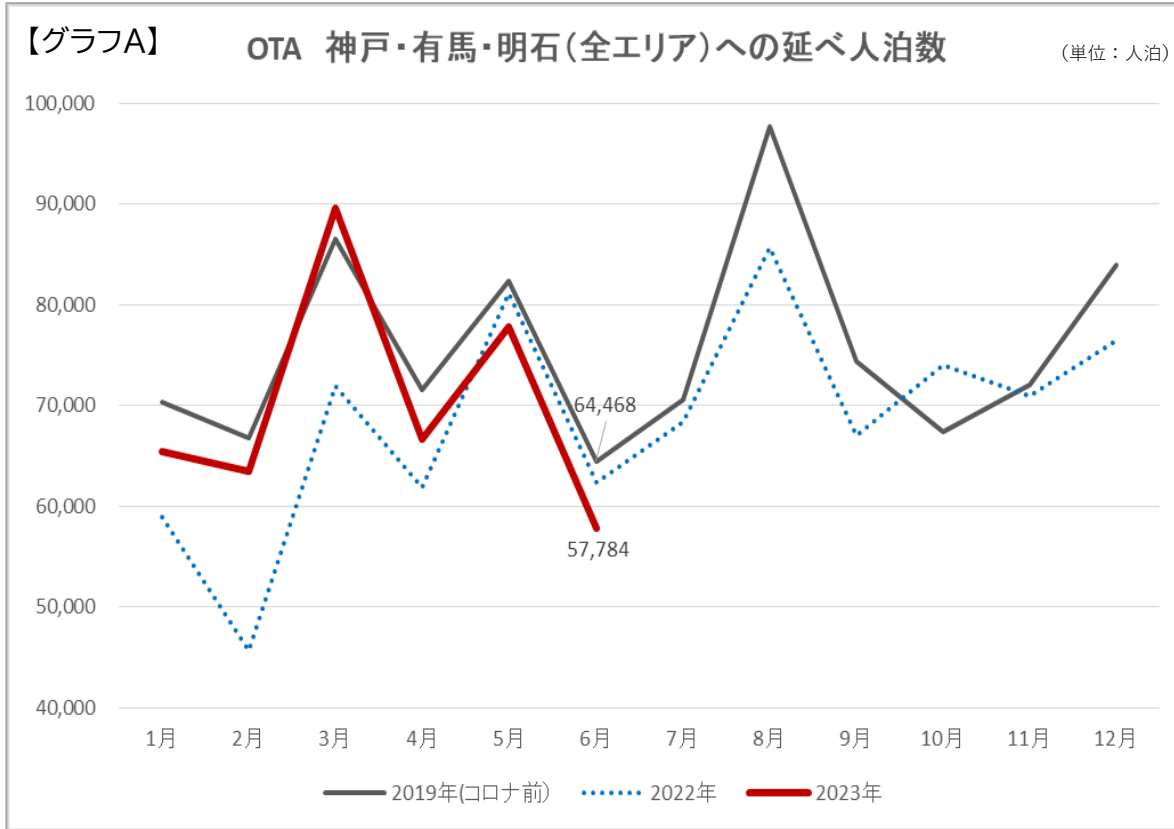
上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。



# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

## 【DATAに関する基本情報】

- ・某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）



### 【考察① グラフ〔A〕 2023年度の出だし好調】

- ・2023年 1-6月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移しており、好調。3月以外は2019年比▲5%～▲10%で推移。（3月は好調で2019年比+3.5%であった。）
- ・6月単月では、全国旅行支援も終了したことから落ち着きを見せ、2019年6月（6万4468人泊）の89.6%にあたる5万7784人泊となった。
- ・インバウンドが回復傾向であることから、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていない。

### 【考察② グラフ〔B〕 2023-2019 1~6月延べ人泊数累計の比較】

- ・2023年 6月までは、42万840人泊で、2019年（コロナ前・44万2292人泊）の95.1%まで回復
- ・2022年の6月までの累計（2022年・38万1992人泊）と比較すると、前年比110%。
- ・コロナ禍が明けてきたこともあり、2022年と比較すると順調に回復してきている。

# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

## 【予約】

黒太字は  
2023-2019年比（ ）内は同時点の2023-2022年比

### 【神戸市】

2019年比  
〔取扱額〕

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<b>全市</b>						
7.9時点	127.4% (115.3%)	125.8% (129.0%)	119.8% (150.1%)	122.9% (147.9%)	<b>90.7% (225.0%)</b>	112.8% (162.0%)
6.11時点	137.5% (138.4%)	128.3% (160.9%)	107.0% (157.8%)	—	—	—
<b>市街地</b>						
7.9時点	128.9% (120.0%)	127.4% (134.4%)	120.9% (168.4%)	101.2% (113.5%)	<b>75.5% (191.9%)</b>	101.8% (158.4%)
6.11時点	124.4% (142.3%)	124.0% (178.7%)	113.5% (186.4%)	—	—	—
<b>有馬</b>						
7.9時点	115.4% (104.8%)	105.8% (104.5%)	109.7% (119.7%)	149.2% (200.7%)	122.9% (239.2%)	146.6% (239.4%)
6.11時点	143.5% (121.9%)	115.7% (121.9%)	102.1% (117.6%)	—	—	—

## 【他エリア比較】

2019年比  
〔取扱額〕

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<b>淡路島</b>						
7.9時点	159.6% (112.8%)	153.9% (108.2%)	192.8% (102.6%)	231.3% (127.6%)	206.2% (123.9%)	196.2% (89.5%)
6.11時点	174.4% (109.7%)	172.8% (127.7%)	200.2% (106.0%)	—	—	—
<b>城崎</b>						
7.9時点	109.2% (109.0%)	111.5% (103.6%)	113.0% (118.1%)	155.8% (208.2%)	209.4% (236.5%)	231.3% (302.9%)
6.11時点	121.5% (119.4%)	103.9% (115.4%)	128.3% (136.8%)	—	—	—
<b>大阪市エリア</b>						
7.9時点	149.8% (130.5%)	149.7% (147.9%)	160.7% (232.6%)	176.7% (278.7%)	141.4% (259.9%)	128.1% (363.4%)
6.11時点	150.4% (173.5%)	142.6% (187.1%)	133.3% (244.8%)	—	—	—
<b>京都市エリア</b>						
7.9時点	136.6% (119.7%)	125.1% (145.6%)	113.0% (157.5%)	108.9% (238.5%)	140.1% (259.4%)	127.0% (256.6%)
6.11時点	139.4% (164.0%)	118.8% (181.0%)	105.1% (179.0%)	—	—	—
<b>東京23区エリア</b>						
7.9時点	130.7% (148.9%)	134.5% (187.5%)	124.2% (253.5%)	159.6% (374.4%)	143.3% (290.1%)	127.0% (441.4%)
6.11時点	134.1% (218.3%)	128.4% (225.5%)	107.3% (289.8%)	—	—	—

- 10月まではコロナ前を上回る水準まで予約が入っている状況。基本的に人泊数というよりも、単価増が好調な伸びを支えている。
- 有馬は特に紅葉シーズンの10月以降予約が好調に伸びている。市街地は10月以降についての伸びが緩やか。11月は伸び悩んでいるように見えるが、大型MICE等も計画されており、市街地への来訪者数としての伸びは期待できる。
- 神戸以外のエリアについては、9月以降も好調に推移しているが、要因としては客単価の伸びが全エリアで生じている。（単価増の影響としては、①高単価な新規ホテルの増加、②ビジネスなども含めた需要回復によるホテルの稼働率増、③人件費・食材費・委託費等原価の上昇などが想定される。）  
大阪・京都については単価のみならず、人泊数が2019年水準を上回っていることも手伝って、取扱額が好調。

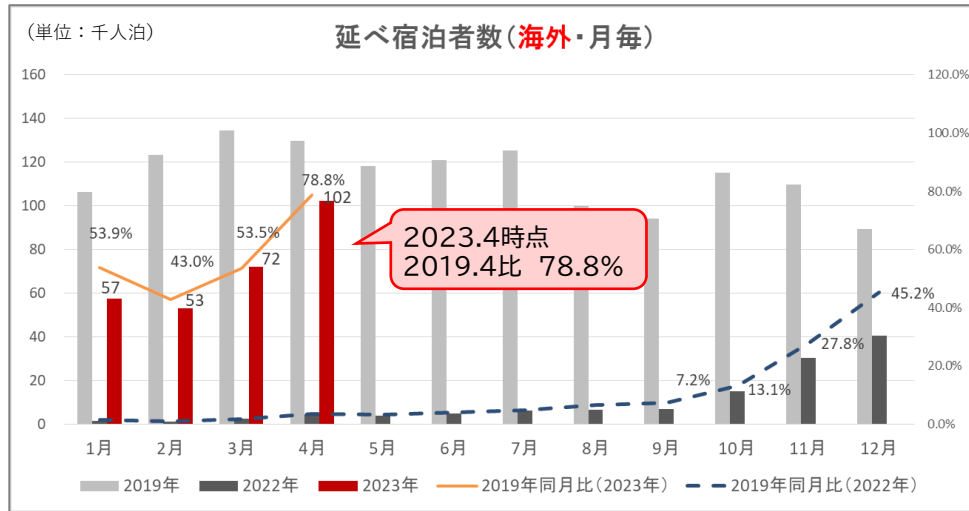
## 定点観測

---

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド比較】 ※R5.4まで

## 【兵庫県】



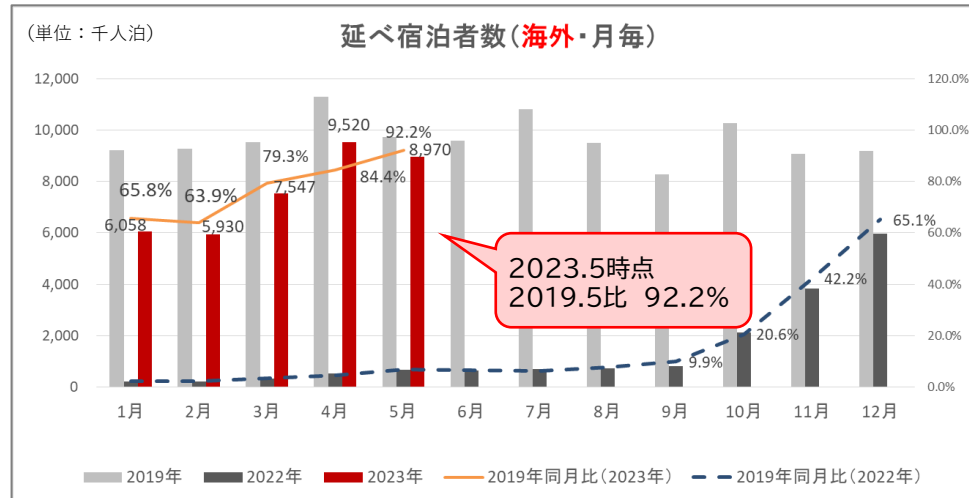
※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元(観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」)の数値が安定していないため、掲載保留中

## 傾向

兵庫県	コロナ前比 約8割(4月)
全国	コロナ前比 約8割(4月) ⇒ 約9割(5月)

## 【全国】

※R5.5推計値まで



※コロナ前比較: 2019.1~2019.12をベースに同月比較



- ・兵庫県は、全国的なトレンドと同程度にまで回復基調
- ・全国の外国人延べ宿泊者数 国籍別内訳では、長期滞在者が多く、かつ訪日外客数の伸びも著しい米国が1位

👉【全国】外国人延べ宿泊者数  
国籍別は[35ページ](#)、都道府県別は[36ページ](#)へ

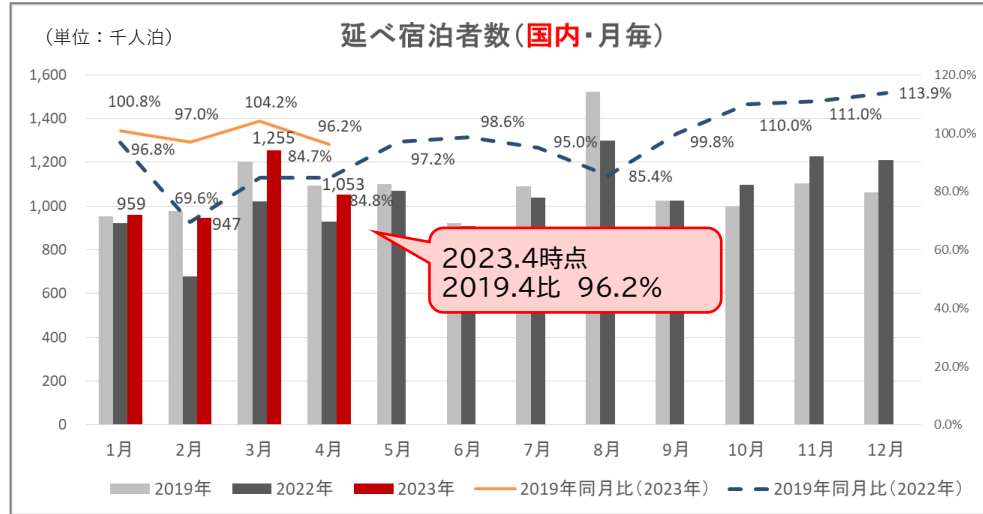
出典:【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和5年4月 第2次速報値
- ・令和5年5月 第1次速報値



# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.4まで

## 【兵庫県】



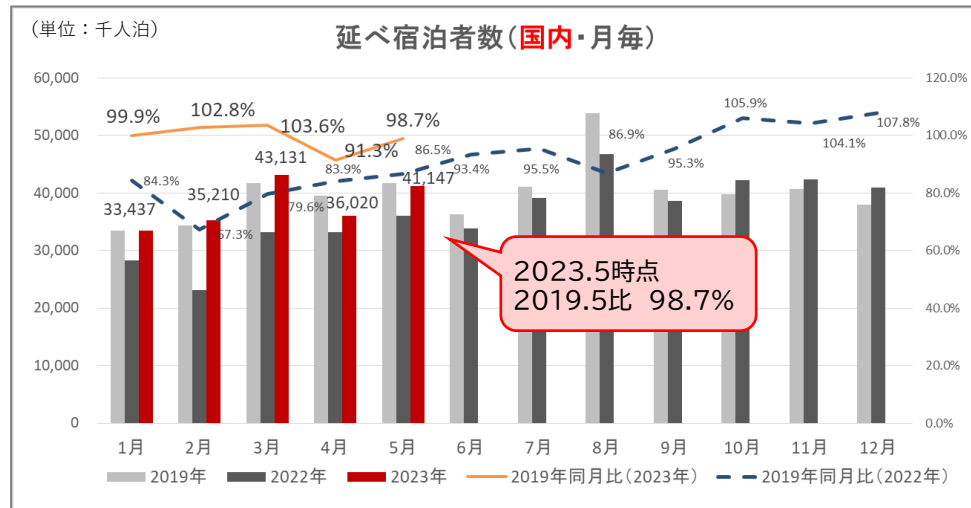
※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元(観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」)の数値が安定していないため、掲載保留中

## 傾向

兵庫県  
・全国

コロナ前比と同水準に回復

## 【全国】 ※R5.5推計値まで



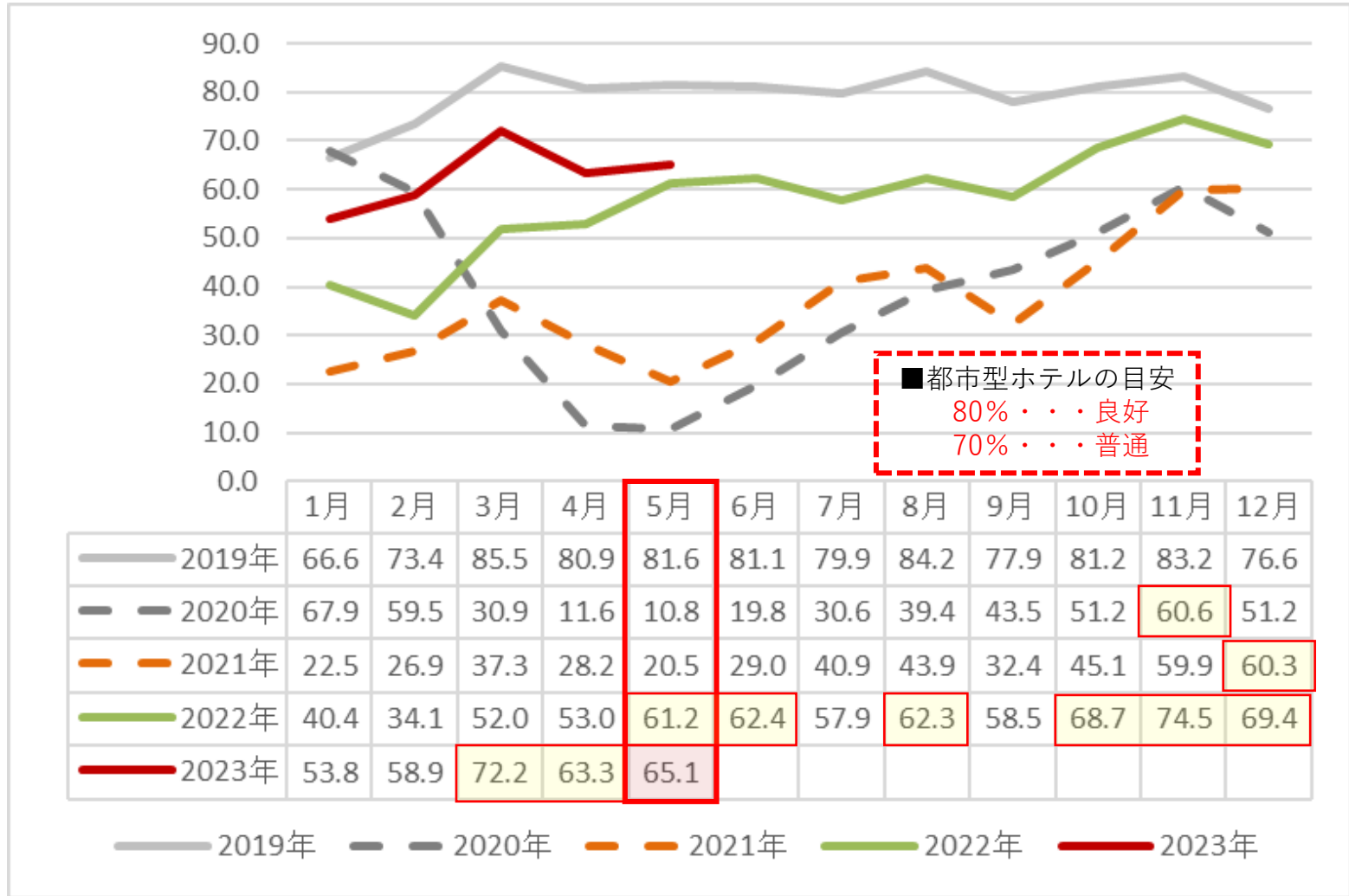
※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典:【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和5年4月 第2次速報値
- ・令和5年5月 第1次速報値



# 市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表  
5月 国内ホテル稼働率  
全国：72.6%  
(前月比 ▲0.5pt)

5月のホテルの全国平均稼働率は72.6%。前月比0.5ポイント低下した。行楽客や訪日外国人客の増加でホテルの利用が戻ってきているものの、新規のホテル開業などで客室の供給数が増えたことから全体の稼働率は下がったと見られる。

# インバウンド情報

---

## (訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

# 2023年月別訪日外客数(対2019年比)

訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
4月	2,926,685名	1,949,236名	▲33.4%
5月	2,773,091名	1,898,900名	▲31.5%
6月	2,880,041名	2,073,300名	▲28.0%

- ・6月の訪日外客数は2020年2月以降、初めてひと月で200万人を超え(2019年比:72%)、着実な回復を見せた。
- ・また2023年上半期(1~6月)で1000万人を突破した。
- ・韓国、台湾が牽引しているものの、**アメリカ、中国からの外客数が急速に増加傾向にある。その他、東南アジアや北米豪においては、2019年を上回るほどの外客者数を記録している。**
- ・一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、受入体制が追い付かない事態もあり、来訪者のマネジメントが今後の課題になることが予見される。

2022.6.10~ 添乗員付きパッケージ

ツアーに限定した訪日観光が再開。

9/7~ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。

10/11~ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明が陰性証明で原則撤廃。

2023.4.29~ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めていたワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00209.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html)

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2023	伸率 Change %
1	2,689,339	1,497,472	-44.3
Jan.	(2,345,029)	(1,308,606)	(-44.2)
2	2,604,322	1,475,455	-43.3
Feb.	(2,341,479)	(1,297,458)	(-44.6)
3	2,760,136	1,817,616	-34.1
Mar.	(2,411,650)	(1,582,518)	(-34.4)
4	2,926,685	1,949,236	-33.4
Apr.	(2,640,569)	(1,738,172)	(-34.2)
5	2,773,091	* 1,898,900	* -31.5
May	(2,455,865)		
6	2,880,041	* 2,073,300	* -28.0
Jun.	(2,614,533)		
7	2,991,189		
Jul.	(2,713,329)		
8	2,520,134		
Aug.	(2,206,746)		
9	2,272,883		
Sep.	(1,913,105)		
10	2,496,568		
Oct.	(2,177,382)		
11	2,441,274		
Nov.	(2,145,425)		
12	2,526,387		
Dec.	(2,292,029)		
1~6	16,633,614	* 10,712,000	* -35.6
Jan.-Jun.	(14,809,125)		
1~12	31,882,049		
Jan.-Dec.	(28,257,141)		

訪日外客数のうち、\*印の値は暫定値、その他の値は確定値。

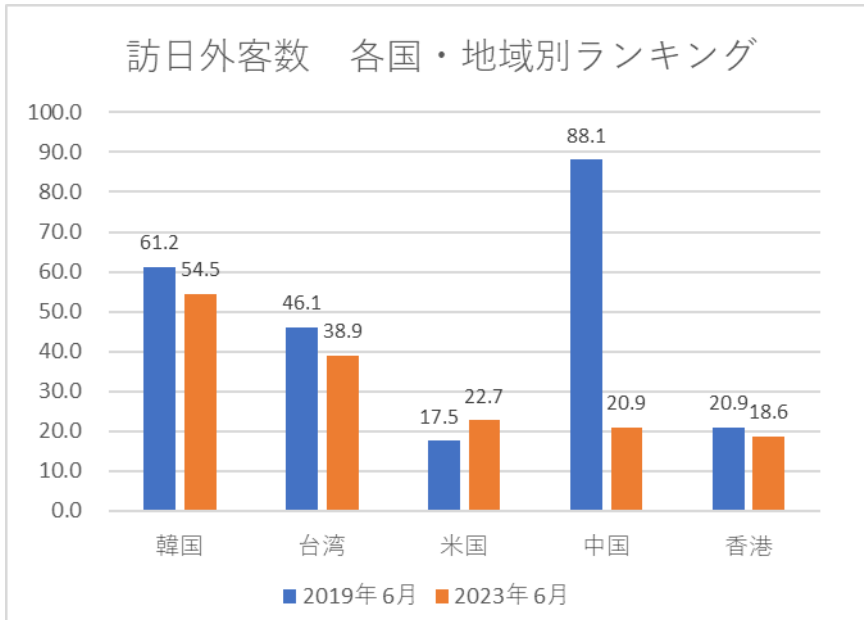
# 2023年6月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 6月	2023年 6月	(順位)	伸率 (%)	2019年 1月～6月	2023年 1月～6月	(順位)	伸率 (%)
韓国	611,867人	545,100人	(1位)	▲ 10.9	3,862,658人	3,128,500人	(1位)	▲ 19.0
台湾	461,085人	389,000人	(2位)	▲ 15.6	2,480,849人	1,770,600人	(2位)	▲ 28.6
米国	175,491人	226,800人	(3位)	29.2	875,124人	972,200人	(3位)	11.1
中国	880,651人	208,500人	(4位)	▲ 76.3	4,532,465人	594,600人	(5位)	▲ 86.9
香港	209,030人	186,300人	(5位)	▲ 10.9	1,097,889人	909,700人	(4位)	▲ 17.1



・アメリカが好調な伸び  
5月16.8%⇒6月29.2%  
(2019比)  
・中国が4位に浮上

※2019年6月 1位



## 6月動向

- 6月の訪日外客数は、2019年同月比72.0%の2,073,300人で、新型コロナウイルス感染症の拡大により訪日外客数が大幅に減少した2020年2月以降、初めて200万人を突破した。また、2023年1～6月までの累計は1,071万2千人となり、上半期の時点で1,000万人を超えた。
- 地域別では、台湾をはじめとした東アジア地域において訪日外客数が増加したこと、また、欧米豪中東地域では特に米国や豪州等において2019年同月比を超える回復を見せたことが今月の押し上げ要因となった。なお、国際線定期便に関しては、2023年夏ダイヤ時点でコロナ禍前の約6割まで運航便数が回復し、その後も東アジアを中心に増便・復便が続いている。
- 新たな観光立国推進基本計画（令和5年3月31日閣議決定）等を踏まえ、観光立国の復活に向けて、観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高めるとともに、地方誘客や消費拡大を促進していく必要がある。国内関係者が連携し、海外旅行会社等へのセールス強化や情報発信を通じた高付加価値旅行、アドベンチャートラベルの推進、MICE誘致等の取組を強化していくことが求められる。



- ・人口・・・5,127万人(2020年12月)
- ・GDP(1人当たり)・・・2019：3万2千米ドル → 2021：3万4千米ドル  
(cf. 日本 2019：4万1千米ドル → 2021：3万9千米ドル)
- ★国際旅行支出・・・2017：317億米ドル → 2018：351億米ドル → 2019：327億米ドル
- ★訪日旅行者数・・・2017：714万人 → 2018：754万人 → 2019：558万人  
※2019年はNO JAPAN運動等の政治的問題により落ち込む。  
年間を通して一定数の訪日があり、ハイ・オフシーズンの差異がほとんどない。
- ・訪日旅行者の性・年代・・・2019 男性：女性=48:52 / ボリュームゾーン 20~50代と幅広い  
2021 男性：女性=42:58 / //
- ・情報収集媒体・・・①NAVER(61.9%) \*韓国最大の検索エンジン ②YouTube(52.2%) ③NAVER Blog(40.9%)



### <韓国の効果的なWebプロモーション>

NAVERの攻略が鍵。NAVERは、リスティング広告が最大20件と多く表示され、色も変わるので、ユーザーのクリック率が非常に高い。完全一致方式(広告のタイトルとユーザーの検索ワードが完全一致の方式)という特性を理解して、ユーザーが検索しそうなワードの表示を心掛けましょう。NAVER Blogは、NAVER検索ユーザーの半数が関連して閲覧すると言われており、Blogへの記事掲出も同時に行うことが、韓国人へのWebプロモーションの第一歩である。

## 韓国の最新情報ひとことメモ

### ・韓国人の最新旅行トレンド(訪日以外のトレンドも含む)

韓国では、現在、MZ世代を中心に、「レトロ」「ニュートロ(レトロ×最新トレンド)」がブームとなっているが、旅行においても同様のトレンドがみられる。旅行における「レトロ」とは、例えば、修学旅行場所の再来訪、経験の再経験や、昔の映画のロケ地などに訪れ、郷愁を感じるというものである。また、世界的な動向であるが、韓国でも「心身の健康」「自然回帰」等への関心は高まっている。他には、IT大国・韓国らしく、「仮想現実での旅行」への関心も高く、メタバースへの旅行産業参入への反応もみられる。

訪日旅行トレンドは、上記と相反するようであるが、日本は「近くて、手軽な行き先」ということから、「グルメ」や「買い物」メインのふらっと旅行が基本ラインとなっていることには変わりはないが、具体的に、食べたいもの・買いたいものがはっきりしているケースが多い。

### ・神戸観光局の動き

神戸観光局では、コロナ前より、ゴルフツーリズムのターゲット国のひとつとして、韓国市場にアプローチを行っており、令和4年度にソウルにて神戸・兵庫ゴルフPRセミナーを実施し、今年度は、プサンにて同様のセミナーを実施予定。

交通機関に関する情報  
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

---



関西国際	2023年 3月	4月	5月
総旅客数(人)	1,756,841	1,651,773	1,808,219
2019年比	▲39%	▲40%	▲34%
国際線 発着数(回)	7,496	8,227	8,660
2019年比	▲44%	▲38%	▲36%
国際線 旅客数(人)	1,058,670	1,127,115	1,233,632
2019年比	▲53%	▲48%	▲43%
うち外国人 旅客数(人)	808,116	960,417	989,324
2019年比	▲43%	▲39%	▲33%
国内線 旅客数(人)	698,171	524,658	574,587
2019年比	+9%	▲8%	▲4%

神戸	2023年 3月	4月	5月
国内線 発着数(回)	3,014	2,788	2,845
2019年比	+21%	+13%	+8%
国内線 旅客数(人)	316,365	262,558	290,845
2019年比	+10%	+4%	+5%

### < 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・5月の関西国際空港の状況は、4月期に引き続き国際線の発着回数が回復傾向。各国の水際対策緩和の影響により、コロナ前(2019年比)の64%まで回復。
- ・外国人旅客数は、5月も順調に増加し、約99万人まで到達。
- ・国際線旅客数は、引き続き外国人旅客数が好調に推移していることに加えて、日本人旅客数の回復が進んだことに伴い、2019年比57%まで回復が進んでいる。
- ・神戸空港については、1月以降、コロナ前を上回る回復を見せている。

直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は[39ページ](#)、  
2023年5月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は[40ページ](#)へ

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。



# 関空国際線就航状況・入国状況 ～KTBターゲット12か国～ 7月20日時点

国際線就航状況 (便数)	2020年1月	2023年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	3	3	3	5	5	5	4
豪州	12	3	4	4	5	5	5	5
米国	<b>78</b>	—	—	—	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>11</b>
中国	<b>630</b>	8	8	<b>8</b>	<b>98</b>	<b>125</b>	<b>161</b>	<b>157</b>
台湾	<b>169</b>	<b>73</b>	<b>75</b>	<b>91</b>	<b>101</b>	<b>101</b>	<b>101</b>	<b>94</b>
香港・マカオ	117	<b>59</b>	<b>66</b>	<b>69</b>	<b>69</b>	<b>118</b>	<b>82</b>	<b>96</b>
韓国	<b>244</b>	<b>196</b>	<b>238</b>	<b>239</b>	<b>265</b>	<b>282</b>	<b>246</b>	<b>296</b>
タイ	47	18	18	21	31	36	36	42
マレーシア	14	5	15	15	15	15	18	18
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0
シンガポール	116	—	—	—	14	14	21	21

※1週間に就航している便数

ターゲット12か国合計、前月比108%

韓国、前月比120%

今月より、シンガポール便追加

出典：関西エアポート発表情報より作成

入国状況 (人数)	2020年1月	2023年1月	2月	3月	4月
英国	3,526	1,879	1,749	3,931	3,811
フランス	2,271	1,324	1,808	3,644	5,769
豪州	11,956	6,964	3,822	6,385	8,226
米国	12,756	7,100	6,087	17,020	15,323
中国	<b>328,191</b>	7,109	8,540	<b>18,157</b>	<b>35,857</b>
台湾	<b>102,205</b>	<b>60,196</b>	<b>59,164</b>	<b>69,566</b>	<b>73,493</b>
香港	51,421	<b>49,918</b>	<b>37,665</b>	<b>48,240</b>	<b>44,399</b>
韓国	<b>85,174</b>	<b>175,758</b>	<b>176,963</b>	<b>149,823</b>	<b>158,791</b>
タイ	22,458	10,839	12,857	20,748	29,837
マレーシア	11,684	7,085	9,408	11,950	11,866
インドネシア	8,866	5,283	5,760	6,179	11,275
シンガポール	6,237	7,912	7,454	14,578	9,698

ターゲット12か国合計、前月比110%

増加率トップは中国で、前月比197%。  
 次いでインドネシア182%、フランス158%。  
 2月⇒3月で増加率280%の米国は、前月比90%となっている。

※今月よりシンガポールを追加

※2023.6月速報値  
 関空入国者数：552,492人（5月：501,210人 4月：471,895人）

出典：総務省「出入国管理統計」より抜粋

# 【クルーズ船寄港状況】ポートターミナル・中突堤

		6月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	11	10	19	110%	58%	37	119	150	31%	25%
	船客数	15,153	1,671	40,656	907%	37%	38,092	26,683	180,727	143%	21%
ポートターミナル		6月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	8	10	14	80%	57%	24	111	94	22%	26%
	船客数	12,981	1,671	38,731	777%	34%	30,560	22,875	142,298	134%	21%
日中国際フェリー (新釜真・蘇州航)	隻数	4	5	3	80%	133%	12	52	28	23%	43%
	船客数	0	0	254	-	0%	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	0	5	0	0%	-	0	53	11	0%	0%
	船客数	0	1,671	0	0%	-	0	18,387	7,385	0%	0%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	0	2	3	0%	0%
	船客数	0	0	0	-	-	0	20	1,262	0%	0%
外国籍船	隻数	4	0	11	-	36%	12	4	52	300%	23%
	船客数	12,981	0	38,477	-	34%	30,560	4,468	131,125	684%	23%
中突堤旅客ターミナル		6月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	3	0	5	-	60%	13	8	56	163%	23%
	船客数	2,172	0	1,925	-	113%	7,532	3,808	38,429	198%	20%
日本船 (内航)	隻数	2	0	3	-	67%	4	3	42	133%	10%
	船客数	1,568	0	1,482	-	106%	2,600	773	29,813	336%	9%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	1	0	5	-	20%
	船客数	0	0	0	-	-	640	0	2,286	-	28%
外国籍船	隻数	1	0	2	-	50%	8	5	9	160%	89%
	船客数	604	0	443	-	136%	4,292	3,035	6,330	141%	68%

## ■全体

6月はR4年度比で隻数+1、船客は+13,482。R1年度比で隻数▲8、船客は▲25,503。

神戸に入港したクルーズ客船で最大となる「MSC BELLISSIMA」(171,598総トン)の初入港や、フランスのポナン社の「LE SOLEAL」(10,992総トン)の初入港をはじめ多数の外国籍船が入港した。

## ■ポートターミナル

6月の入港隻数は8。内訳は定期船の日中国際フェリーが4、外国籍船「DIAMOND PRINCESS」が2、「MSC BELLISSIMA」が1、「LE SOLEAL」が1。

## ■中突堤

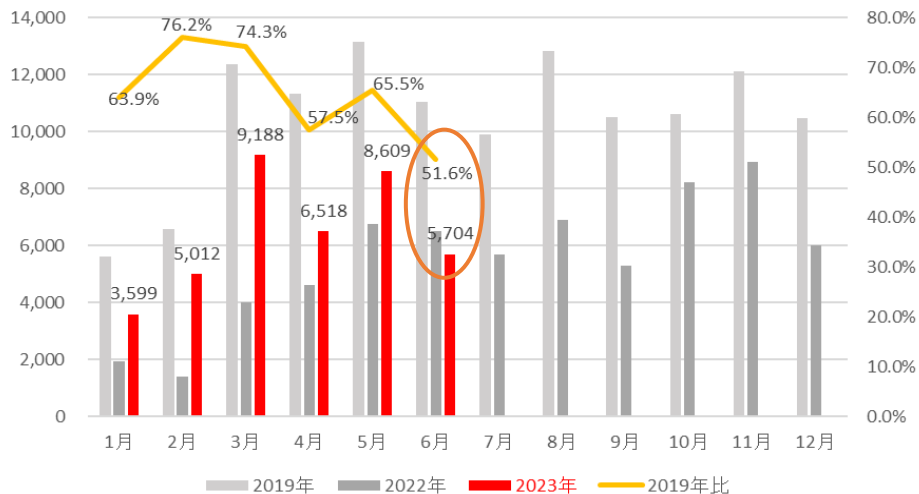
6月の入港隻数は3。内訳は外国籍船「INSIGNIA」が1、日本籍船「飛鳥II」が2。

神戸市内観光に関する情報  
～神戸観光局オリジナルデータ～

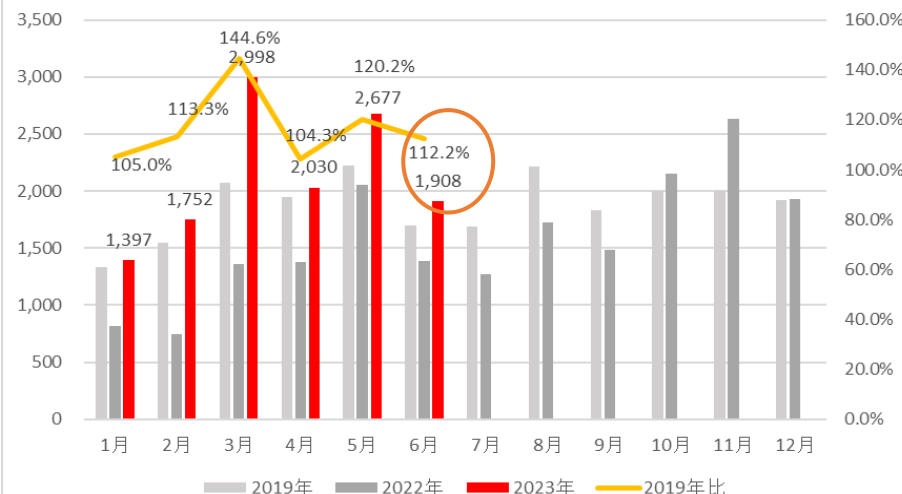
---

# 市内観光案内所 観光客案内件数 (2023.6)

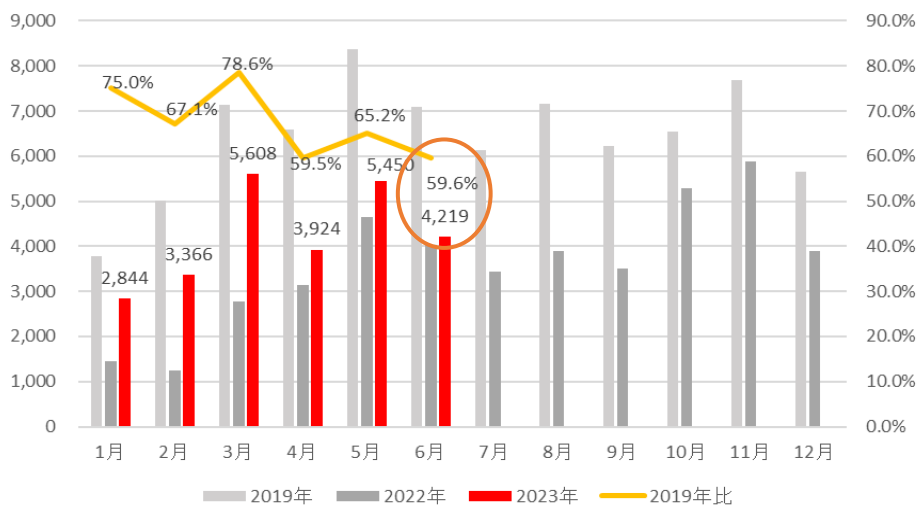
## 総合IC



## 北野



## 新神戸



### ○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

アジア系外国人比率が高まっている。

### ○北野観光案内所 (北野異人館街)

3案内所のうち、唯一2019年比を上回る (112%) 観光地の中にあるため、直接案内の比率が高い。

### ○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

国内外ともに、ハイキング目的の方が多数訪れる。

6月案内所全体件数 11,831件 ⇒ 前月比 70.6% 2019年比 59.6%

## ○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔客数状況〕 ・6月中下旬～7月中旬は平日320名ほど・休日480名ほど。
- 〔客層〕
  - ・アジア人のうち、**中国人の割合が増加傾向**。台湾家族連れ目立つ。
  - ・イベント参加者、学会参加者、クルーズ船乗船客。
- 〔行き先〕
  - ・外国人は、神戸ビーフレストラン、どうぶつ王国、北野、南京町など。
  - ・イベントに伴う会場アクセス案内。ワールド記念ホール、こくさいホール。
- 〔内容〕
  - ・医学学会の開催に伴い、一般観光客の宿予約が困難な日もあり。
  - ・アイスショーに関する案内多数、人気の高さを実感。

## ○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時 (3月～10月)

9-17時 (11月～2月)

- 〔客数状況〕 ・6月中下旬～7月中旬は平日90名ほど・土日140名ほど。
- 〔客層〕
  - ・アジア系外国人は、中国・香港・台湾人グループが目立つ。
  - ・校外学習の地元中学生。年配ハイキング客、国内ファミリー層。
- 〔行き先〕
  - ・近郊の方中心に、うろこの家、山手八番館（サターンの椅子）が人気。
  - ・各異人館、布引の滝、南京町、ハーブ園、有馬、六甲山等。
- 〔内容〕
  - ・夏季は休憩所として来館される方が増える。
  - ・日を追うごとに、**外国人観光客の割合が高まっている傾向**。

## ○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・6月中下旬～7月中旬は平日170名ほど、土日250名ほど。
- 〔客層〕
  - ・外国人はアメリカ、オーストラリアの家族連れが目立つ。
  - ・**クルーズ船乗客、MICE参加者**、修学旅行生。
- 〔行き先〕
  - ・天候の良い日は、ハーブ園、布引の滝、六甲山などハイキング目的の方多数。
  - ・夜景案内、北野。天候悪い日はアウトレット、竹中大工道具館へ。
- 〔内容〕
  - ・海外旅行者が防災未来センター、安藤建築の問合せ多い。
  - ・各方面バスの案内が多数、ループバスで市内観光、高速バスで淡路島など行先は様々。
  - ・コンサートやイベントに関連する問い合わせが多い。

# 市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.6)

国・地域	総合IC	北野	新神戸	
アジア	韓国	261	147	36
	中国	303	101	71
	台湾	453	131	88
	香港	235	44	49
	タイ	67	8	54
	シンガポール	117	18	83
	マレーシア	34	8	15
	インドネシア	38	6	50
	フィリピン	68	5	35
	ベトナム	11	0	1
	インド	22	0	31
	パキスタン	1		
	バングラデシュ			
	その他アジア	866	12	187
中東	イスラエル	1		4
	トルコ	7		3
	イラン			
	その他中東	20		2
ヨーロッパ	英国	13	1	20
	フランス	46	12	42
	イタリア		5	7
	ロシア	1	2	
	ギリシャ			
	アイルランド			
その他ヨーロッパ	288	20	81	
アフリカ	南アフリカ共和国			
	エジプト			
	その他アフリカ	1		
北アメリカ	米国	94	29	192
	カナダ	10	7	36
	メキシコ	1		12
	その他北米	2		0
南アメリカ	ブラジル	3		4
	アルゼンチン			
	コロンビア			5
	その他中南米	9		
オセアニア	オーストラリア	33	3	56
	ニュージーランド	2		10
	その他オセアニア			
地域不明			433	
	(人)	3007	559	1607

## 〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,007人、前月比53%。  
コロナ禍以前2019年同月比53.4%
- ・中国からの個人旅行者が増加傾向、神戸ビーフの問合せが多い。
- ・各種パスやイベントのチケット購入など、日本語でしか対応できていないケースがあり、案内が難航する。

## 〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者559人、前月比150%。  
アジア系の方が外国人来所者の85%を占める。  
アジア系のうち韓国約30%、次いで台湾が約27%、中国20%、香港10%。
- ・ほとんどが母国語の北野ガイドマップを要望。

## 〔新神戸観光案内所より概況〕

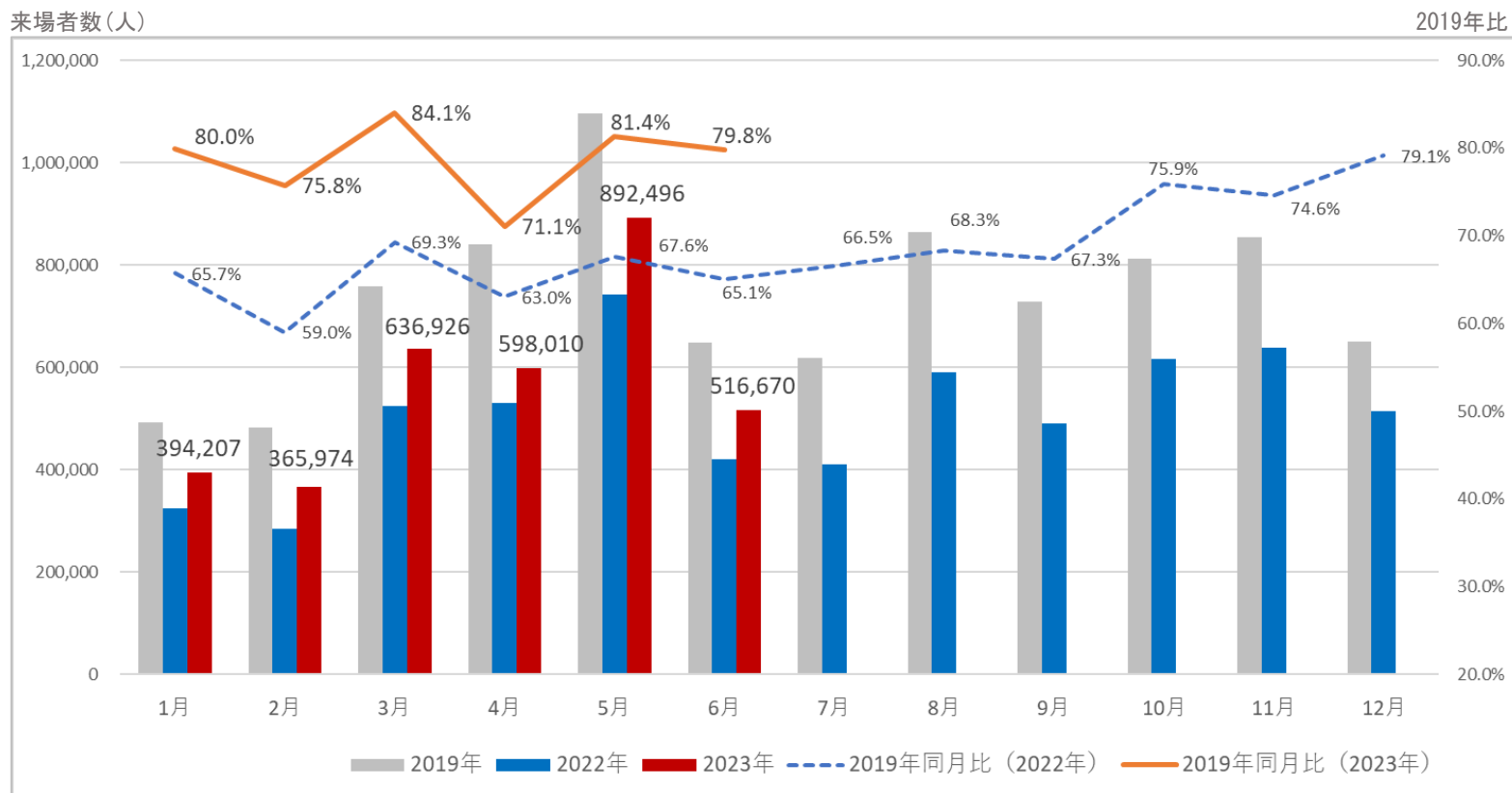
- ・外国籍利用者1,607人、前月比87.4%。
- ・アジアからは、台湾・シンガポール筆頭にインドネシア・フィリピンの旅行客増加傾向。ヨーロッパはフランスの方が多く、オセアニアはオーストラリア他、ニュージーランドも増えている。アメリカ・カナダも引き続き多い。
- ・神戸牛レストラン、チョコレートの店情報、六甲山登山、夜景スポット、等日帰り観光案内。
- ・レンタサイクル問合せ、日本の文房具を買いたいなどの問合せ。

6月案内所全体件数 5,173件 ⇒ 前月比96.7%  
2019年比68.0%



# 主要市内観光施設来場者数（2023.6）

- ・ 6月の来場者数について、季節変動もあり前月を下回ったものの、2019年6月比：約8割を維持。
- ・ 引き続きインバウンドは増加傾向にあり、特に北野エリアでは韓国からの観光客が多い。
- ・ 国内旅行者についても、これまでより遠方（東京・神奈川など関東圏）からの利用客が増加しつつある。



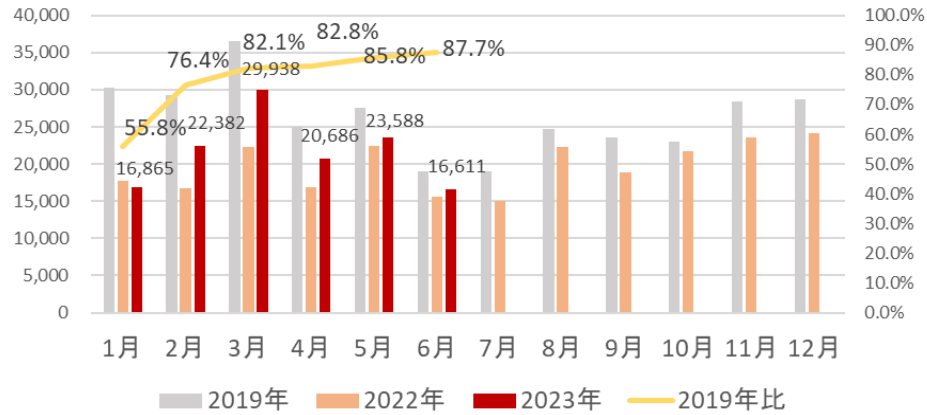
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月計
2019年	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2022年	323,867	285,141	525,080	530,110	741,675	421,305	411,176	590,543	489,843	616,308	637,940	514,591	6,087,579
2019年同月比 (2022年)	65.7%	59.0%	69.3%	63.0%	67.6%	65.1%	66.5%	68.3%	67.3%	75.9%	74.6%	79.1%	68.8%
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670							
2019年同月比 (2023年)	80.0%	75.8%	84.1%	71.1%	81.4%	79.8%							

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

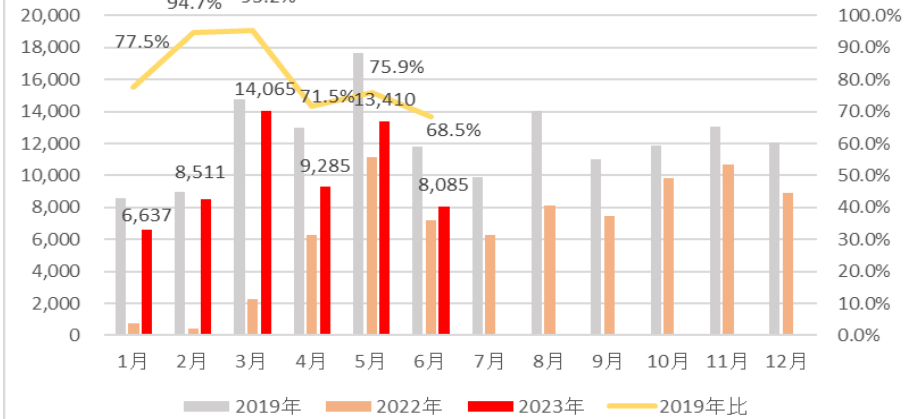
集計対象施設：全21施設(ラインの館、風見鶏の館、王子動物園、神戸市立博物館、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、須磨海浜水族園など)

# 所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

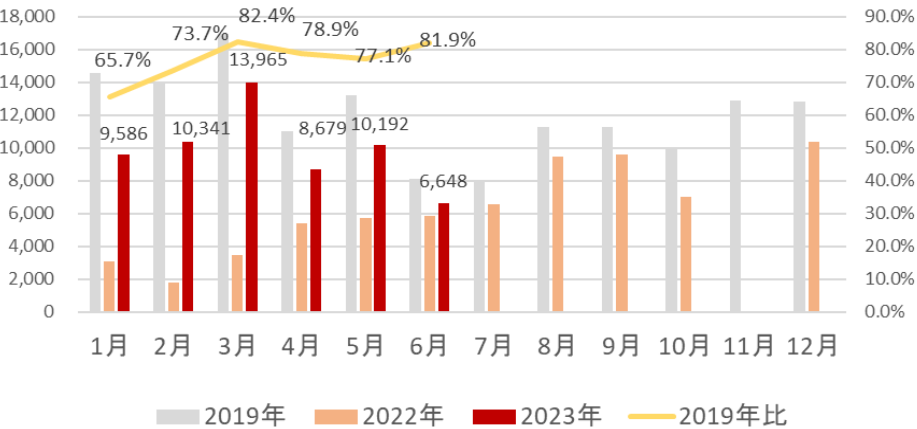
## 金の湯



## 萌黄の館



## 銀の湯



### 【コメント】

2019年比、全体では68.5%。  
外国人は74%で、アジア人（特に韓国人）が目立つ。  
週末は昨年並みの入館者数になっており、バックヤードツアーの予約も入りつつある。



### 【コメント】

平日・休日共に外国人の利用者は個人が中心となり、団体の利用が少なくなった。  
4月以降、2019年（コロナ前）85%前後で推移。大幅な増加は見られない。



# 神戸市内大型施設の主な催事情報(8～9月) 7月20日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出  
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記  
 ※神戸観光局経営推進部調べ



8月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	4～8日 計算物理国際会議 CCP2023		5～6日 LEE JUNHO Arena Tour 2023	5日 それゆけアンパン マン ミュージカル 「まもれ! 黄金の炎」	2日 福田こうへい コンサートツアー 5日 ジャズ&ラテン フェスティバル	5～6日 第34回全日本女子車いすバスケットボ ール選手権大会
2週目			11～12日 浦島坂田船 SUMMER TOUR Plusss			11～13日 国体近畿ブロック大会 (バスケットボ ール)
3週目				17日 リアル恐竜ショー 恐竜パーク 19～20日 郷ひろみ	13～14日 第11回全国小中学生ダンス コンクール西日本大会	16～20日 国体近畿ブロック大会 (ハンドボ ール)
4週目	8/21～23 第23回模擬工区連会議 関西大会	8/20 NEW ORDER CHOPPER 18th ANNUAL	26～27日 KAZUYOSHI SAITO 30th Anniversary Live 1993-2023	26日 LTL LEAGUE from EXILE TRIBE	23日 水森かおり・市川由紀乃 ジョイントコンサート	21～23日 第71回全日本学生弓道選手権大会 25～27日 国民体育大会近畿ブロック大会 (バレーボール)
5週目		25～27日 ワールドアトリエセー ル			27日 関西学院大学・北海 道大学・同志社大学 男声合唱フェスティバル	28～29日 全日本選手権大会ジュニア県予選会 (卓球)
9月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	9月1～2日 第25回日本褥瘡学会学術集会		1～3日 ディズニーオンアイス	2日 清水翔太	2日 新世界の扉をたたけ!	2～3日 U-18日清ブロックバスケットボール
2週目	7～8日 第20回Spring-8産業利用 報告会	7～8日 国際フロンティア産業 メッセ2023	8～10日 2023 TREASURE FAN MEETING ～HELLO AGAIN～	9日 島津亜弥		
3週目	15～17日 日本心理学会87回大会			10日 沢田研二 13日 美川憲一 & コロッケ 15～16日 徳永英明	16日 EXIT LIVE (中ホール) 16日 神戸市混声合唱団 (大ホール)	16～18日 日本女子リーグ2023/2024アルコ神戸
4週目	19～23日 International HBV Meeting2023		17日 Inori Minase LIVE TOUR 2023 SCRAP ART	17日 高島ちさ子 19～21日 劇団四季 23日 木久扇・志ら く・たい平 三人会	17日 第47回東西落語名人選	23日 令和5年度神戸市総合スポーツ大会
5週目	28日 日独水素シンポジウム 2023 30～10/1 第6回日本腫瘍循環器学会 学術集会		24日 新日本プロレス DESTRUCTION in KOBE	28日 Saucy Dog		30日 第32回バトントワーリング兵庫県大会

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

## 參考資料集

---

# 2023年6月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

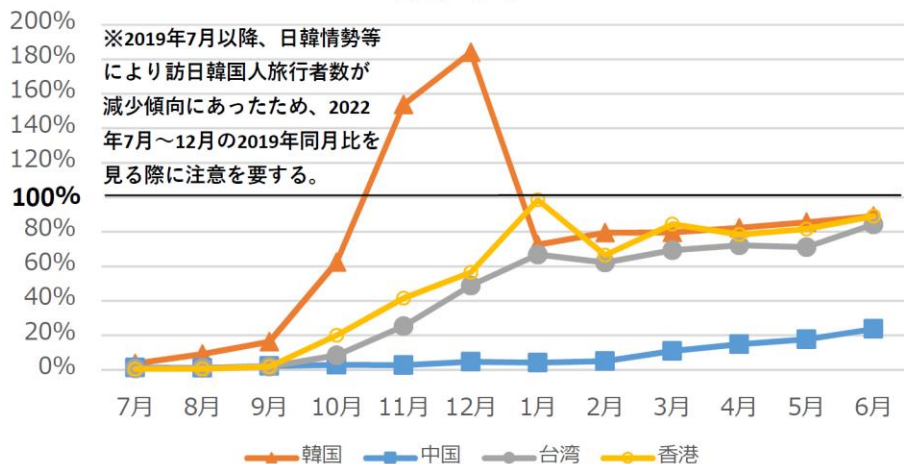
国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 6月	2023年 6月	伸率(%)	2019年 1月～6月	2023年 1月～6月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,880,041	2,073,300	-28.0	16,633,614	10,712,000	-35.6
韓国	South Korea	611,867	545,100	-10.9	3,862,658	3,128,500	-19.0
中国	China	880,651	208,500	-76.3	4,532,465	594,600	-86.9
台湾	Taiwan	461,085	389,000	-15.6	2,480,849	1,770,600	-28.6
香港	Hong Kong	209,030	186,300	-10.9	1,097,889	909,700	-17.1
タイ	Thailand	62,984	51,300	-18.6	683,595	497,700	-27.2
シンガポール	Singapore	47,264	54,600	15.5	214,083	252,700	18.0
マレーシア	Malaysia	30,534	22,000	-27.9	237,929	194,200	-18.4
インドネシア	Indonesia	49,290	39,300	-20.3	215,873	201,700	-6.6
フィリピン	Philippines	46,842	54,200	15.7	295,120	277,100	-6.1
ベトナム	Vietnam	35,419	38,900	9.8	253,247	301,000	18.9
インド	India	15,359	14,200	-7.5	92,940	79,400	-14.6
豪州	Australia	37,283	42,400	13.7	326,906	274,700	-16.0
米国	U.S.A.	175,491	226,800	29.2	875,124	972,200	11.1
カナダ	Canada	25,402	30,000	18.1	183,769	183,300	-0.3
メキシコ	Mexico	5,676	6,800	19.8	31,624	35,000	10.7
英国	United Kingdom	25,801	20,400	-20.9	185,698	150,100	-19.2
フランス	France	21,317	17,700	-17.0	160,310	122,200	-23.8
ドイツ	Germany	15,697	13,700	-12.7	118,479	106,700	-9.9
イタリア	Italy	11,357	10,200	-10.2	74,768	59,300	-20.7
スペイン	Spain	9,762	8,700	-10.9	51,422	39,600	-23.0
ロシア	Russia	8,844	2,400	-72.9	55,940	16,200	-71.0
北欧地域	Nordic Countries	12,808	11,400	-11.0	72,345	53,100	-26.6
中東地域	Middle East	7,747	9,100	17.5	46,070	51,900	12.7
その他	Others	72,531	70,300	-3.1	484,511	440,500	-9.1

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

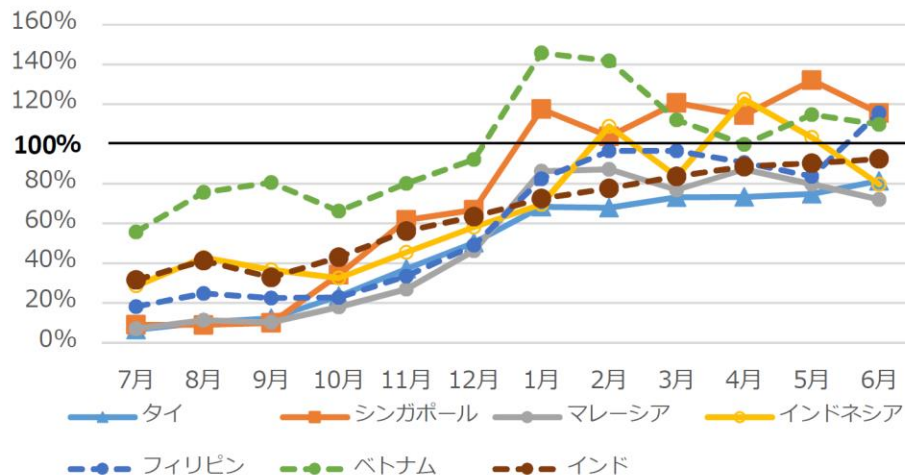
※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

# 2022年7月～2023年6月訪日外客推移（2019年同月比）

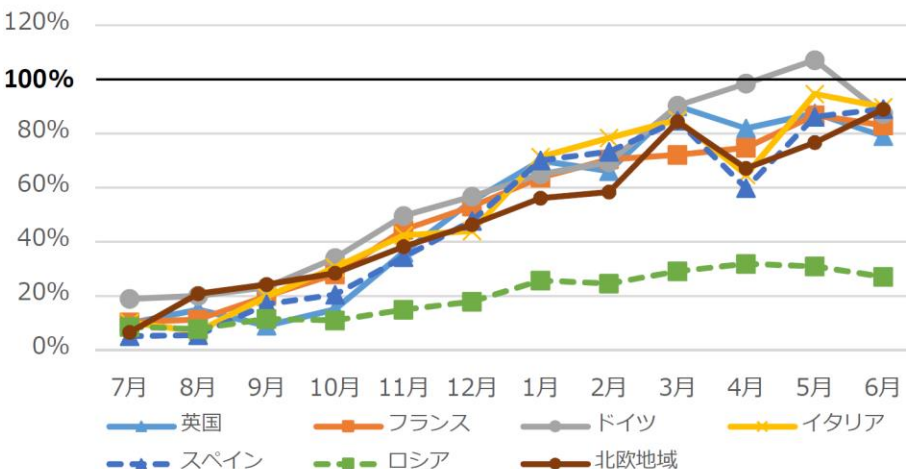
## 東アジア



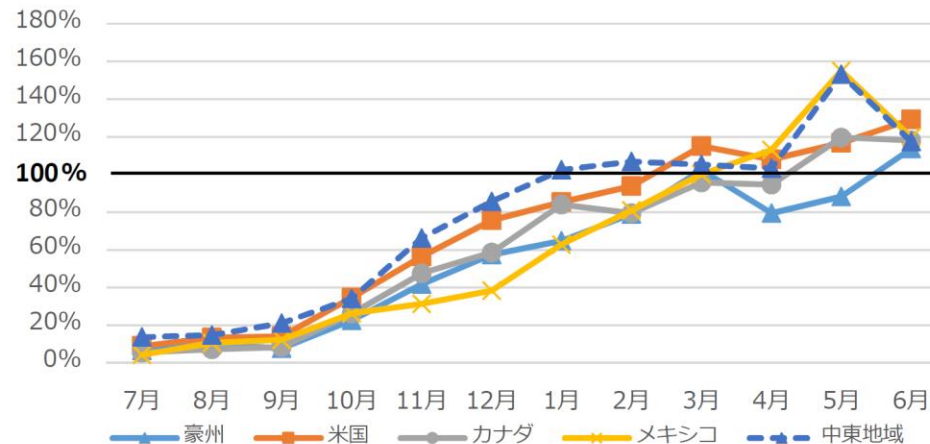
## 東南アジア



## 欧州・北欧



## 北米・豪州・中東



(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

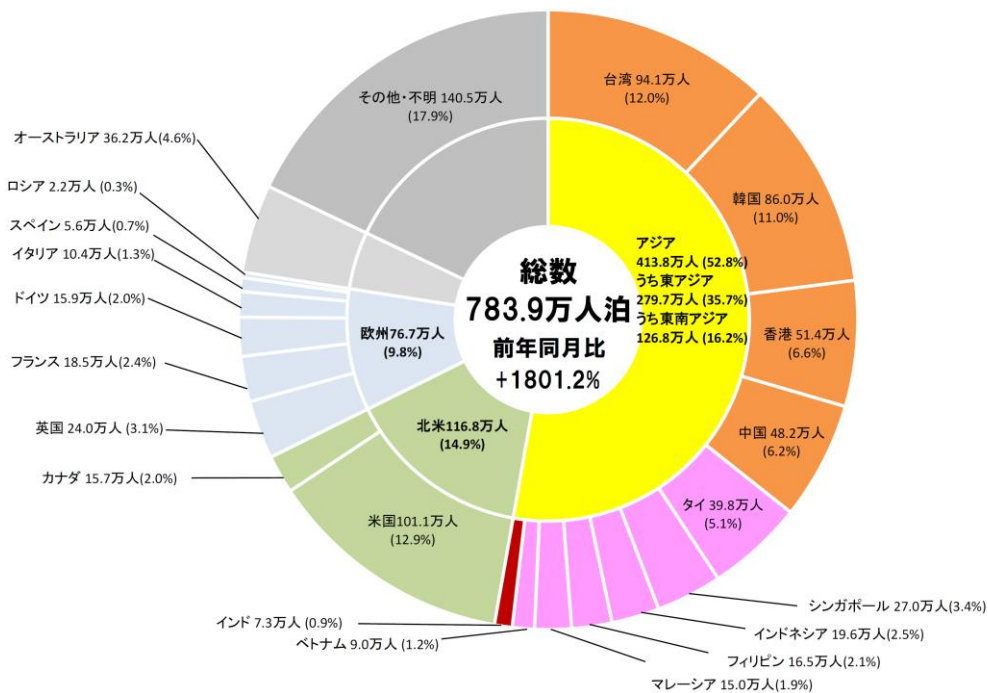


# 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.4月）

○令和5年4月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が米国、第2位が台湾、第3位が韓国、第4位が香港、第5位が中国で、上位5ヵ国・地域で全体の48.7%を占める。

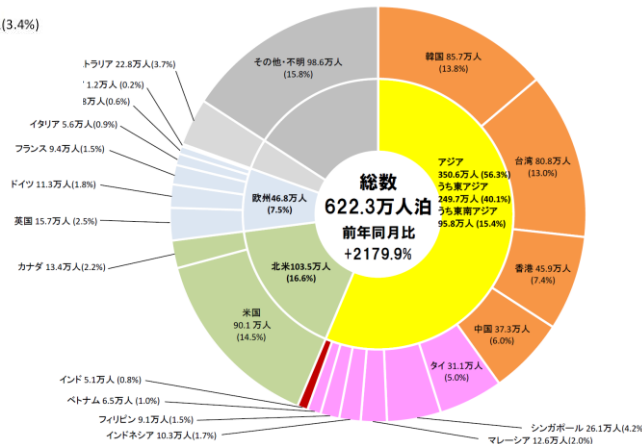
○2019年同月比では1割以上減少している国が多いが、シンガポールなどの東南アジアや米国・カナダの北米地域は2019年比より1割以上の伸びを見せている。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年4月（第2次速報））



順位	国籍（出身地）	合計		2019年同月比	前年同月比
		（人泊）	シェア		
第1位	米国	1,010,610	12.9%	+22.9%	+1534.0%
第2位	台湾	940,780	12.0%	-19.2%	+15954.3%
第3位	韓国	859,740	11.0%	-14.6%	+3361.1%
第4位	香港	513,990	6.6%	-16.9%	+12315.2%
第5位	中国	482,330	6.2%	-78.9%	+497.1%
第6位	タイ	397,560	5.1%	-18.5%	+4438.4%
第7位	オーストラリア	361,950	4.6%	-1.9%	+8052.0%
第8位	シンガポール	269,660	3.4%	+37.6%	+2774.8%
第9位	英国	239,600	3.1%	-2.2%	+3209.4%
第10位	インドネシア	195,520	2.5%	+61.3%	+1127.4%
第11位	フランス	185,320	2.4%	-20.4%	+3233.1%
第12位	フィリピン	165,030	2.1%	+22.2%	+688.9%
第13位	ドイツ	159,140	2.0%	+1.1%	+2402.2%
第14位	カナダ	157,190	2.0%	+16.5%	+5765.3%
第15位	マレーシア	149,990	1.9%	+8.4%	+4933.2%
第16位	イタリア	104,270	1.3%	-29.1%	+4961.7%
第17位	ベトナム	90,270	1.2%	-11.5%	+529.5%
第18位	インド	72,810	0.9%	-13.4%	+846.8%
第19位	スペイン	56,070	0.7%	-41.4%	+5864.9%
第20位	ロシア	22,490	0.3%	-59.6%	+1872.8%
	その他	1,018,640	13.0%	-7.0%	+1232.3%
	合計	7,839,320	100.0%	-20.4%	+1801.2%

【参考】前月分  
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年3月（第2次速報））



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。  
※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。  
※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。



# 都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023.2～2023.4)

(単位：人泊)

	2月		3月		4月	
	延べ宿泊者数	順位	延べ宿泊者数	順位	延べ宿泊者数	順位
全 国	5,929,850		7,547,120		9,519,560	
01北海道	654,970	(3)	445,620	(4)	307,080	(7)
02青森県	10,830	(31)	9,800	(38)	34,300	(24)
03岩手県	16,120	(27)	9,650	(39)	26,920	(27)
04宮城県	23,240	(20)	21,680	(26)	54,410	(19)
05秋田県	5,110	(40)	2,530	(47)	8,170	(43)
06山形県	18,460	(23)	12,790	(33)	10,680	(41)
07福島県	19,920	(22)	14,350	(30)	19,850	(33)
08茨城県	8,840	(32)	14,310	(31)	18,720	(35)
09栃木県	20,350	(21)	34,570	(21)	46,000	(22)
10群馬県	15,200	(28)	17,340	(28)	24,270	(30)
11埼玉県	7,940	(36)	11,030	(36)	16,680	(37)
12千葉県	159,620	(8)	185,050	(8)	324,750	(5)
13東京都	2,189,530	(1)	3,032,610	(1)	3,595,080	(1)
14神奈川県	114,020	(9)	204,500	(7)	247,050	(8)
15新潟県	47,680	(15)	24,280	(23)	21,200	(32)
16富山県	4,530	(43)	5,420	(43)	30,280	(25)
17石川県	25,440	(19)	58,020	(17)	130,690	(13)
18福井県	2,570	(45)	3,830	(45)	6,930	(45)
19山梨県	75,260	(12)	86,450	(13)	139,520	(12)
20長野県	178,610	(7)	89,670	(12)	141,030	(11)
21岐阜県	55,520	(13)	54,950	(18)	112,920	(14)
22静岡県	47,650	(16)	73,540	(14)	98,960	(17)
23愛知県	85,410	(10)	132,440	(9)	163,220	(9)

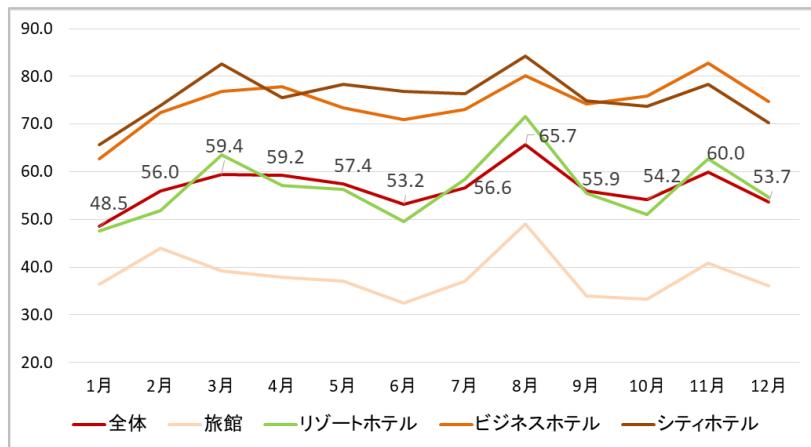
	2月		3月		4月	
	延べ宿泊者数	順位	延べ宿泊者数	順位	延べ宿泊者数	順位
24三重県	6,390	(38)	12,700	(34)	22,290	(31)
25滋賀県	16,560	(24)	16,980	(29)	17,650	(36)
26京都府	411,250	(4)	820,640	(3)	1,209,180	(3)
27大阪府	911,430	(2)	1,074,960	(2)	1,305,630	(2)
28兵庫県	52,930	(14)	72,010	(15)	102,300	(16)
29奈良県	7,020	(37)	22,200	(24)	25,550	(29)
30和歌山県	14,990	(29)	36,160	(20)	46,470	(20)
31鳥取県	2,470	(46)	3,970	(44)	5,110	(46)
32島根県	1,460	(47)	3,040	(46)	4,110	(47)
33岡山県	8,770	(33)	22,180	(25)	29,580	(26)
34広島県	31,500	(18)	89,700	(11)	152,090	(10)
35山口県	4,920	(41)	9,240	(40)	7,330	(44)
36徳島県	4,310	(44)	12,320	(35)	15,040	(38)
37香川県	11,920	(30)	19,970	(27)	39,440	(23)
38愛媛県	5,800	(39)	13,390	(32)	19,330	(34)
39高知県	4,850	(42)	9,090	(41)	11,470	(40)
40福岡県	290,520	(5)	298,290	(5)	308,270	(6)
41佐賀県	7,970	(34)	9,930	(37)	12,930	(39)
42長崎県	16,190	(25)	36,880	(19)	46,290	(21)
43熊本県	47,320	(17)	61,430	(16)	80,310	(18)
44大分県	78,390	(11)	99,890	(10)	105,700	(15)
45宮崎県	7,970	(34)	8,770	(42)	9,890	(42)
46鹿児島県	16,190	(25)	27,080	(22)	26,890	(28)
47沖縄県	181,890	(6)	221,860	(6)	337,970	(4)

# 宿泊タイプ別客室稼働率

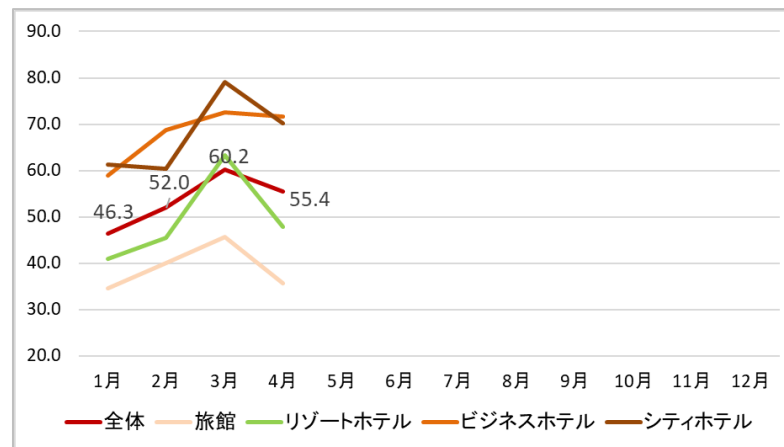
2019年／2023年比較

## 【兵庫県】

(2019年)

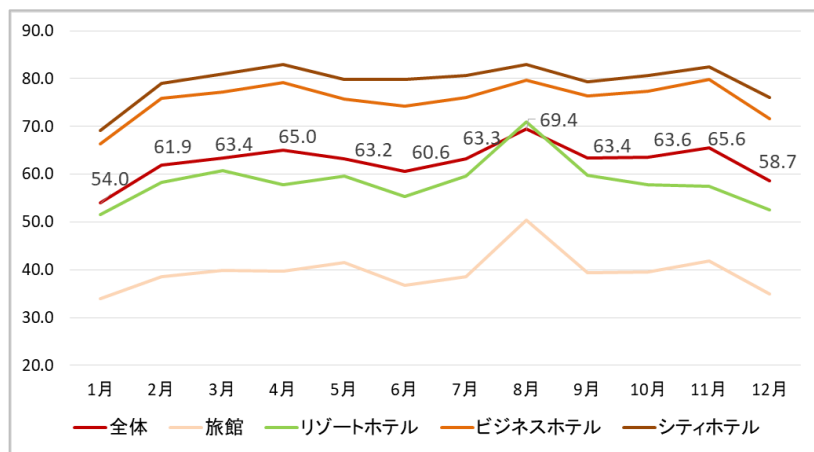


(2023年)

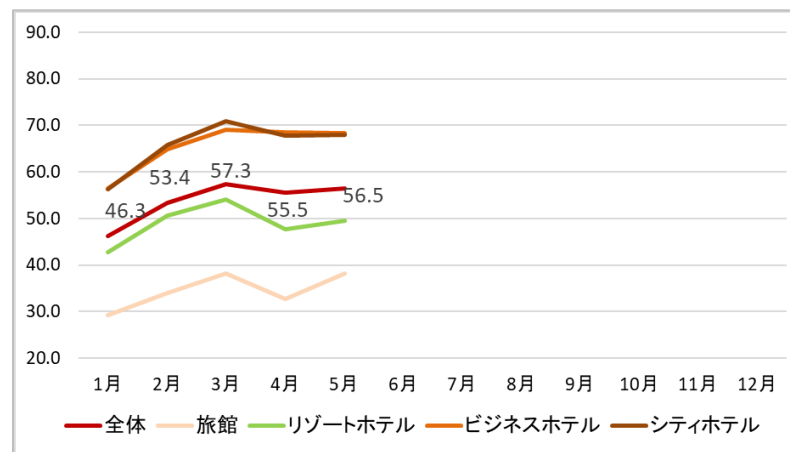


## 【全国】

(2019年)



(2023年)



## 世界の運航状況

2019年7月1週目比 2023年7月1週目比

地域	2019年7月1週目比	2023年7月1週目比
世界	-3.5%	1.3%
西欧	-3.3%	0.0%
東欧	-16.9%	1.2%
北米	-4.0%	4.1%
中米	6.1%	2.1%
南米	2.0%	0.5%
東アジア	-4.7%	0.8%
東南アジア	-16.5%	0.1%
中東	2.8%	-1.0%
太平洋(豪州ほか)	-9.7%	2.7%

## 世界の座席利用率(2023年5月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	77.3% -3.0p	83.3% 1.3p	日本	73.8% 0.7p
欧州	84.8% 1.1p	84.8% 1.1p	中国	72.8% -11.2p
北米	86.3% 0.2p	86.3% 0.2p	インド	91.6% 1.5p
中南米	81.8% -2.1p	83.8% -0.2p	米国	86.9% -0.6p
中東	79.9% 6.8p	79.2% 4.5p	豪州	73.6% -2.5p
合計	81.8% 0.0p	82.3% 1.8p	合計	88.1% -2.7p

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

### <世界の航空業界の状況>

世界の運航総数は、2019年コロナ前をわずかに下回っているが引続き増加傾向。

- ・前週比で大幅に増加したのは、北米・中米・南アジアの国内線。
- ・国際線での増加は主に西ヨーロッパの航空会社によるもので、増加全体の3分の2を占める。

# 関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年6月～2023年5月) 7月20日時点



関西国際	2022年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月
総旅客数(人)	524,388	649,909	714,267	648,397	885,510	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834	1,756,841	1,651,773	1,808,219
2019年比(%)	-80	-76	-75	-73	-65	-55	-47	-47	-42	-39	-40	-34
国際線 発着数(回)	3,448	3,591	3,740	3,683	4,284	5,544	6,242	6,227	6,197	7,496	8,227	8,660
2019年比(%)	-74	-74	-73	-71	-66	-57	-55	-55	-48	-44	-38	-36
外国人 旅客数(人)	38,948	51,778	67,522	70,856	206,106	471,298	663,438	753,219	736,776	808,116	960,417	989,324
2019年比(%)	-97	-96	-95	-93	-84	-64	-50	-47	-46	-43	-39	-33
国内線 旅客数(人)	454,729	546,888	568,852	502,916	583,702	560,512	560,251	502,333	552,232	698,171	524,658	574,587
2019年比(%)	-17	-11	-13	-14	+2	-2	+1	-9	+5	+9	-8	-4

神戸	2022年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月
国内線発着 回数(回)	2,666	3,081	3,109	2,785	3,106	2,858	3,058	2,812	2,755	3,014	2,788	2,845
2019年比(%)	+10	+19	+14	±0	+1	±0	±0	+16	+25	+21	+13	+8
国内線 旅客数(人)	215,697	265,021	299,259	256,541	293,612	286,507	279,040	253,485	263,184	316,365	262,558	290,845
2019年比(%)	-18	-6	-9	-14	+1	-4	±0	+2	+7	+10	+4	+5

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

# 神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年6月～2023年5月)

7月20日時点



路線	内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月
新千歳	旅客数(人)	42,470	49,670	51,263	49,579	50,832	40,730	41,390	40,249	44,358	50,793	37,584	48,405
	利用率(%)	72.0	81.3	83.9	86.0	82.8	66.8	67.1	66.7	81.7	80.5	62.1	77.1
青森	旅客数(人)	2,418	3,052	6,319	3,300	3,636	2,764	2,475	2,054	2,358	3,965	2,654	3,674
	利用率(%)	48.0	58.8	63.8	67.7	69.8	54.8	49.1	40.8	50.2	76.1	52.7	70.5
花巻	旅客数(人)	2,171	2,431	3,508	2,663	2,558	2,732	2,597	2,405	2,166	3,863	2,560	3,023
	利用率(%)	43.1	46.8	67.4	54.7	49.3	56.9	52.4	49.2	50.0	78.1	52.5	59.2
仙台	旅客数(人)	11,581	13,862	17,200	15,202	17,488	17,487	16,337	13,382	14,349	18,112	14,971	17,174
	利用率(%)	55.4	63.2	78.4	73.4	79.7	82.3	74.4	62.0	73.7	83.9	70.5	78.2
新潟	旅客数(人)	2,105	1,841	2,274	1,731	2,127	1,811	1,534	1,163	1,583	2,632	209	1,005
	利用率(%)	46.4	38.4	46.9	38.0	45.5	35.9	33.3	26.1	33.7	62.7	62.2	85.5
茨城	旅客数(人)	14,320	18,199	22,620	17,808	23,264	24,291	22,316	18,885	20,508	26,489	21,642	23,741
	利用率(%)	55.4	55.3	69.8	57.2	70.7	78.0	67.8	58.0	69.0	80.5	67.9	72.1
羽田	旅客数(人)	63,350	69,993	72,557	70,048	75,781	76,456	78,852	72,983	69,384	79,594	70,589	73,973
	利用率(%)	69.9	69.7	81.8	80.5	82.5	88.5	87.9	82.0	87.4	88.6	81.1	82.5
松本	旅客数(人)	6,313	5,821	5,948	5,512	7,086	7,233	5,873	5,086	5,610	7,479	5,912	7,350
	利用率(%)	64.8	56.4	57.1	56.7	68.2	73.6	62.4	50.5	61.8	73.0	58.7	70.7
高知	旅客数(人)	2,065	2,285	2,535	1,831	2,178	2,380	2,912	2,607	2,409	3,190	2,178	2,731
	利用率(%)	41.0	43.9	48.7	38.9	41.9	49.6	58.1	52.5	53.8	64.5	43.9	52.5
長崎	旅客数(人)	13,666	18,637	23,446	18,703	23,214	22,017	20,425	19,793	20,435	25,737	22,612	24,397
	利用率(%)	52.9	56.9	71.6	63.7	70.5	69.9	62.0	60.8	68.7	78.2	71.0	74.1
鹿児島	旅客数(人)	6,593	10,469	15,389	12,226	16,263	16,935	15,784	14,181	14,804	15,665	13,997	16,745
	利用率(%)	43.3	48.1	70.1	62.2	74.1	79.7	71.9	65.7	74.7	71.4	65.9	76.3
那覇	旅客数(人)	37,519	55,216	61,316	47,024	54,558	57,607	53,879	48,445	53,212	63,904	54,825	54,986
	利用率(%)	55.0	64.2	70.4	65.4	71.5	78.2	70.6	63.8	77.2	82.3	72.7	69.9
下地島	旅客数(人)	7,374	8,444	8,679	5,931	8,689	8,822	8,955	6,586	7,905	9,299	7,936	7,482
	利用率(%)	69.4	76.9	79.1	65.7	79.2	83.1	81.6	60.0	79.8	84.7	74.7	70.5